

Ⅱ 調査結果の概要

[学校調査]

1 大 学

(1) 学 校 数 (表1)

学校数は669校〔国立99校、公立74校、私立496校。通信教育のみを行う学校（私立1校、放送大学学園立大学）を除く。〕で、前年度より20校増加している。

表1 大学の設置者別学校数

区 分	計	国立	公立	私立	私立の割合
	校	校	校	校	%
平成3年度	514	97	39	378	73.5
8	576	98	53	425	73.8
9	586	98	57	431	73.5
10	604	99	61	444	73.5
11	622	99	66	457	73.5
12	649	99	72	478	73.7
13	669	99	74	496	74.1

(2) 学 生 数 (表2)

学生数は、276万6千人（男子173万9千人、女子102万6千人）で、前年度より2万6千人増加している。

また、学生数のうち学部学生は248万7千人、大学院学生は21万6千人〔修士課程（修士課程及び博士前期課程（医・歯学及び獣医学を除く一貫制博士課程を含む。）以下同じ。）15万1千人、博士課程（博士後期課程（医・歯学及び獣医学の博士課程を含む。）以下同じ。）6万6千人〕、専攻科・別科等の学生は6万2千人となっている。

①学生数を設置者別にみると、国立62万3千人（学生数の22.5%）、公立11万3千人（同4.1%）、私立203万1千人（同73.4%）となっている。

②女子学生の占める割合は37.1%で、前年度より0.9ポイント上昇している。

表2 学生数(大学)

区 分	計	うち学部	うち大学院		うち女子	社会人 a	女子の占 める比率	国 立	公 立	私 立
			a	うち社会人						
	人	人	人	人	人	%	%	人	人	人
平成3年度	2,205,516	2,052,335	98,650	...	625,191	...	28.3	528,687	66,694	1,610,135
8	2,596,667	2,368,992	164,350	...	864,147	...	33.3	610,219	87,878	1,898,570
9	2,633,790	2,400,278	171,547	...	899,434	...	34.1	614,669	91,642	1,927,479
10	2,668,086	2,428,269	178,901	...	930,871	...	34.9	617,348	95,976	1,954,762
11	2,701,104	2,448,804	191,125	...	959,490	...	35.5	621,126	101,062	1,978,916
12	2,740,023	2,471,755	205,311	24,897	992,312	12.1	36.2	624,082	107,198	2,008,743
13	2,765,705	2,487,133	216,322	29,237	1,026,398	13.5	37.1	622,679	112,523	2,030,503

(3) 関係学科別学部学生の構成 (表3, 図1)

学部学生の関係学科別構成比をみると「社会科学」が39.6%で最も高く、次いで「工学」(18.6%), 「人文科学」(16.6%)等の順となっている。さらに、その年次推移をみると、「工学」, 「農学」, 「教育」の比率が低下してきている。

(4) 専攻分野別大学院学生の構成

(表3, 図1, 図2)

大学院修士課程の専攻分野別構成比をみると、「工学」が40.4%で最も高く、次いで「社会科学」(15.5%), 「理学」(8.6%)等の順となっている。さらに、その年次推移をみると、「社会科学」の比率は年々上昇してきているが、「工学」, 「農学」の比率は低下してきている。

大学院博士課程の専攻分野別構成比をみると、「医・歯学」が28.6%で最も高く、次いで「工学」(18.6%), 「人文科学」(10.9%)等の順となっている。さらに、その年次推移をみると、「理学」,

「工学」, 「医・歯学」の比率は年々低下してきている。

また、大学院学生のうち、「社会人」(平成13年5月1日において職に就いている者であり、企業等を退職した者及び主婦等を含む。)は修士課程では1万8千人(男子1万1千人, 女子7千人)で、学生数に占める割合は12.0%, 博士課程では1万1千人(男子8千人, 女子3千人)で、学生数に占める割合は17.0%となっている。これを各専攻分野ごとに「社会人」の占める割合をみると、修士課程では「社会科学」が34.3%で最も多く、次いで「教育」(32.1%)となっており、博士課程では「工学」が22.4%で最も多く、次いで「医・歯学」(18.8%)となっている。

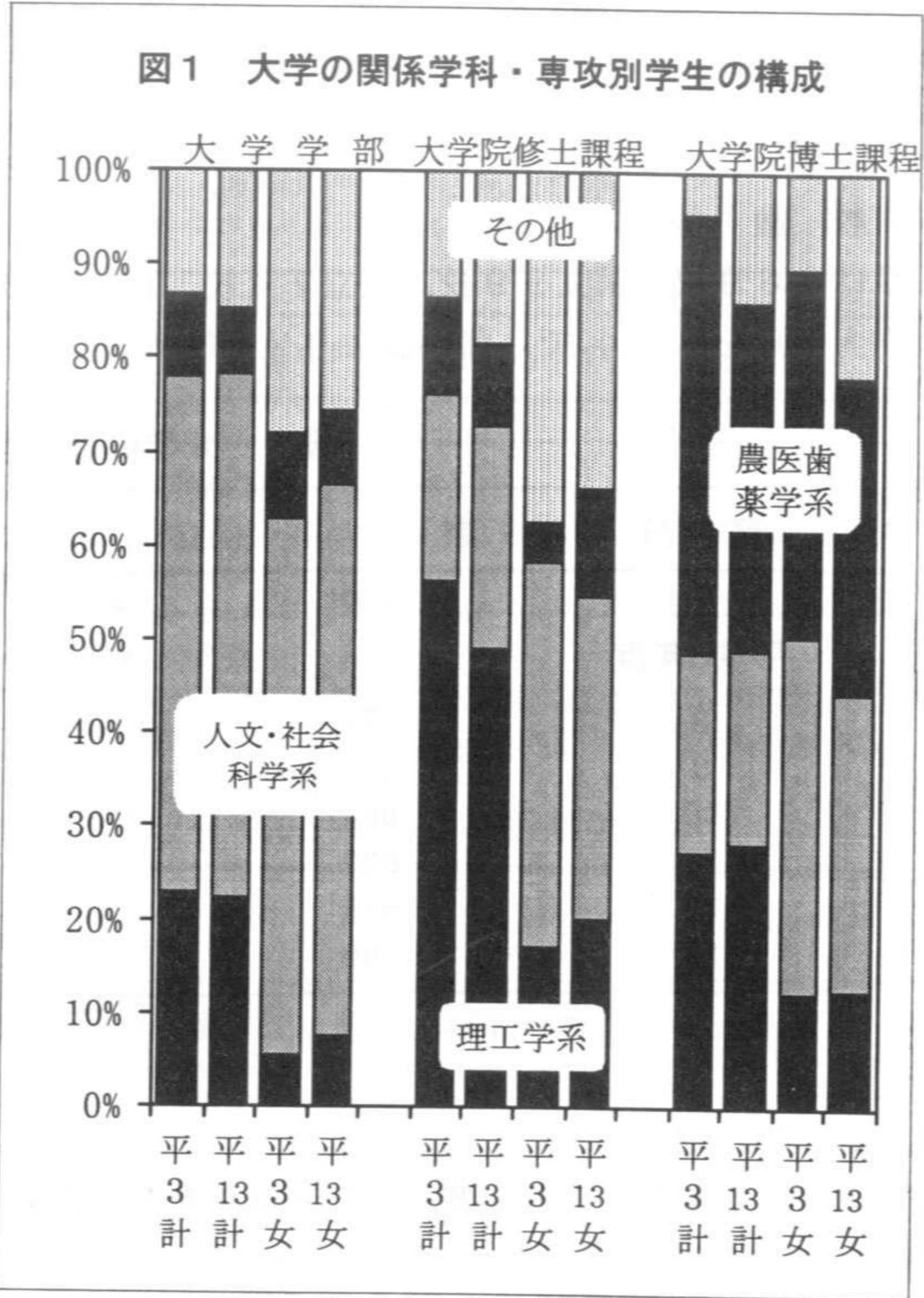


表3 関係学科・専攻分野別学生数の比率の推移 (大学・大学院)

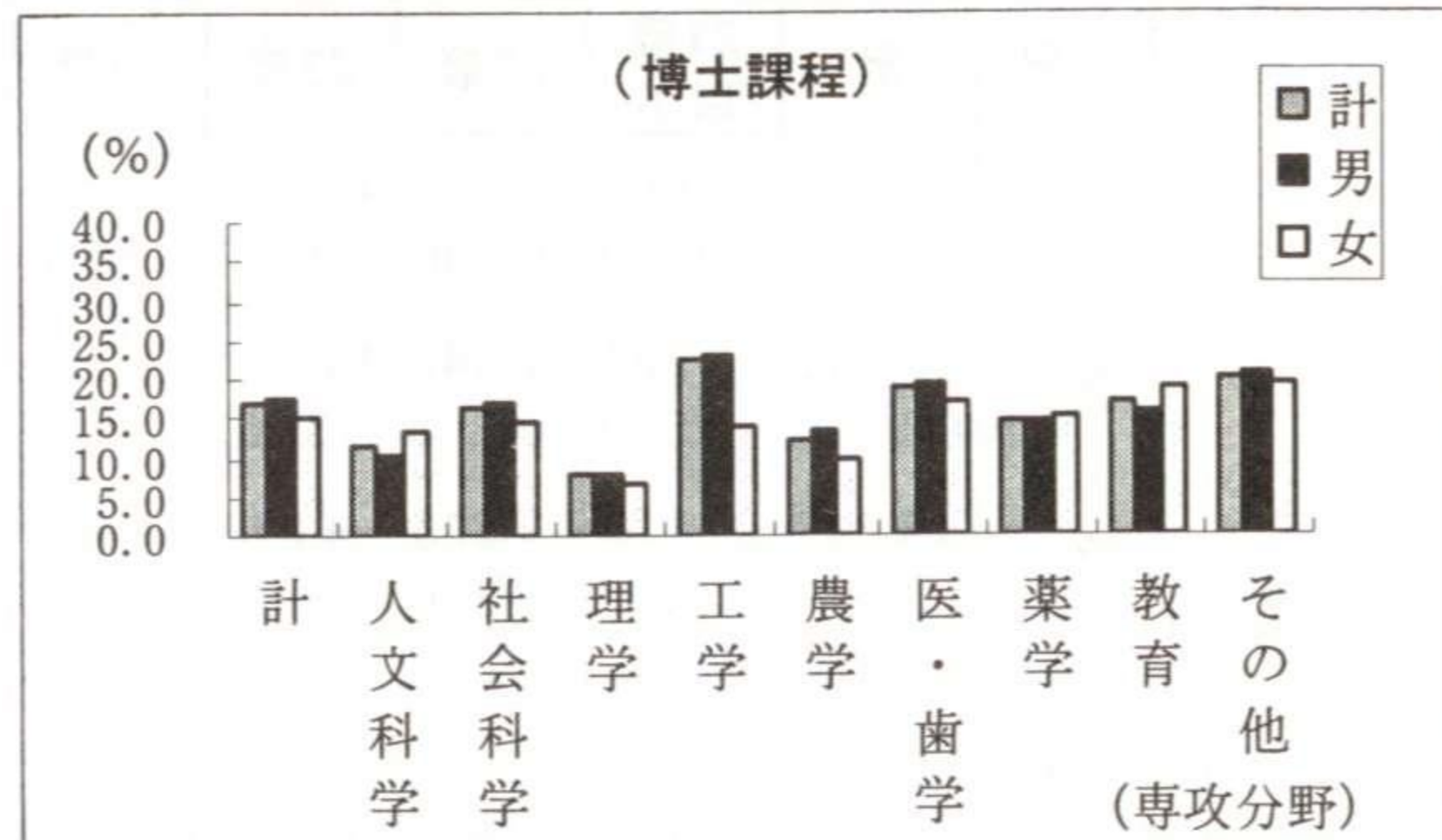
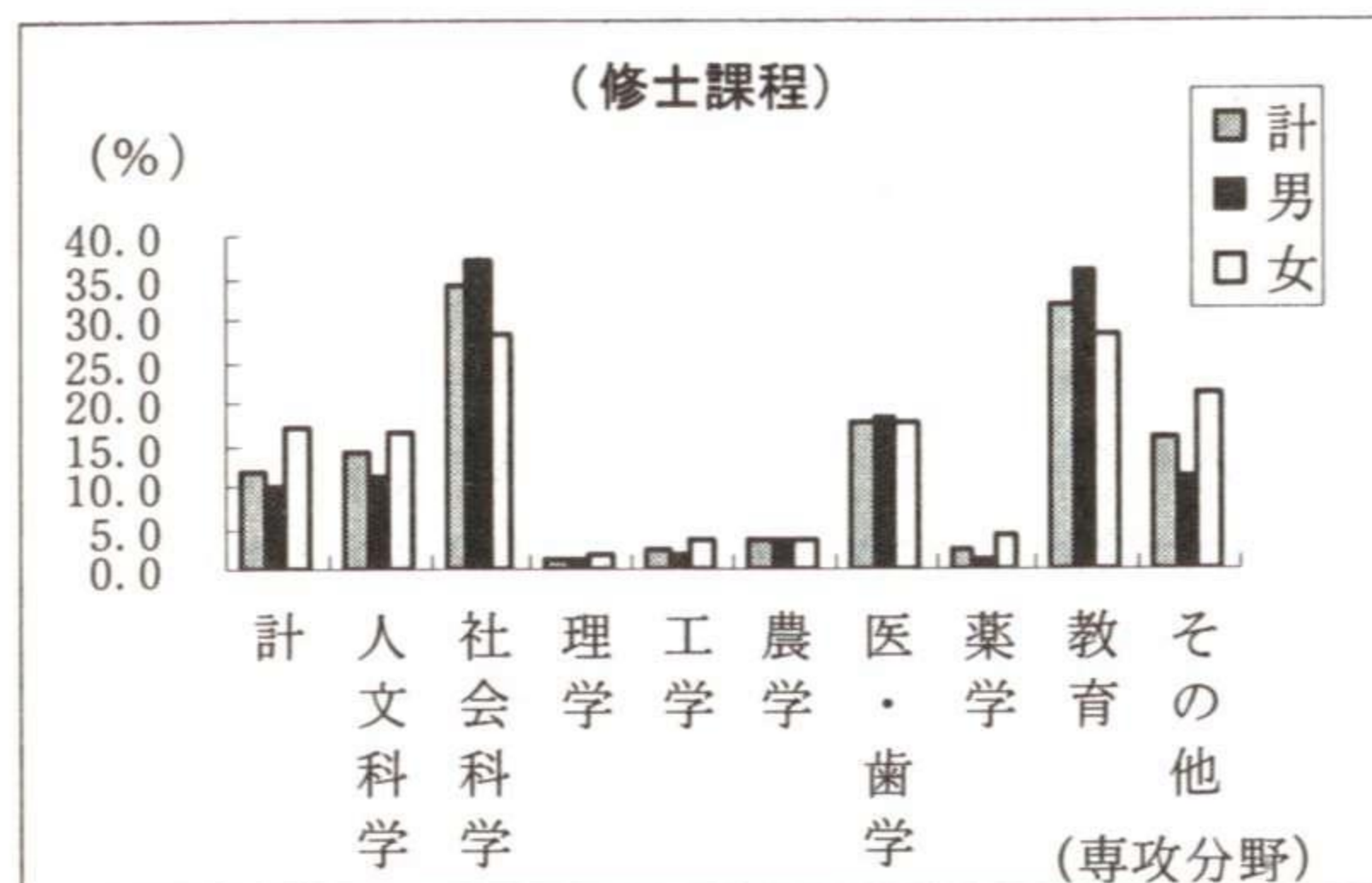
区 分	関 係 学 科 別 学 生 の 構 成 比										
	計	学 部 学 生									
		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
平成3年度	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
	100.0	15.4	39.8	3.4	19.6	3.3	3.4	1.8	1.8	6.9	4.6
8	100.0	16.3	40.1	3.6	19.6	3.1	2.8	1.6	1.7	6.2	5.2
9	100.0	16.4	40.1	3.5	19.5	3.0	2.7	1.6	1.7	6.0	5.4
10	100.0	16.5	40.0	3.5	19.4	2.9	2.7	1.6	1.7	5.8	5.7
11	100.0	16.7	39.9	3.6	19.2	2.9	2.6	1.5	1.8	5.7	6.0
12	100.0	16.6	39.9	3.6	18.9	2.8	2.6	1.5	1.8	5.6	6.7
13	100.0	16.6	39.6	3.6	18.6	2.8	2.6	1.5	1.9	5.4	7.4

区 分	関 係 学 科 別 学 生 の 構 成 比										
	計	大 学 院 修 士 課 程									
		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
平成3年度	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
	100.0	9.2	10.6	10.2	46.1	6.6	0.1	3.6	…	8.8	4.7
8	100.0	8.9	12.3	10.3	43.4	6.0	0.2	3.0	…	8.6	7.2
9	100.0	9.0	12.9	10.1	42.9	5.8	0.2	3.1	…	8.5	7.5
10	100.0	8.9	13.9	9.8	42.1	5.6	0.2	2.9	…	8.2	8.3
11	100.0	8.8	14.6	9.5	41.5	5.6	0.3	2.7	…	7.9	9.2
12	100.0	8.6	15.0	9.0	41.4	5.5	0.3	2.7	…	7.6	10.0
13	100.0	8.5	15.5	8.6	40.4	5.3	0.4	2.8	…	7.6	11.0

区 分	関 係 学 科 別 学 生 の 構 成 比										
	計	大 学 院 博 士 課 程									
		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
平成3年度	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
	100.0	12.2	9.2	11.0	16.3	6.5	38.3	1.8	…	2.3	2.3
8	100.0	10.6	8.7	11.4	21.0	7.1	31.4	1.7	…	2.2	5.8
9	100.0	10.7	9.3	11.2	20.8	7.0	30.5	1.7	…	2.3	6.5
10	100.0	10.8	9.4	11.0	20.1	6.9	30.0	1.6	…	2.5	7.7
11	100.0	10.9	9.8	10.7	19.3	6.8	29.7	1.6	…	2.5	8.7
12	100.0	11.0	9.9	10.3	18.9	6.7	29.2	1.6	…	2.5	9.9
13	100.0	10.9	10.1	9.6	18.6	6.7	28.6	1.7	…	2.5	11.5

注) 大学院修士課程・博士課程の「家政」については、「その他」に含まれている。

図2 専攻分野別社会人大学院学生の構成比



(5) 入学状況

ア. 大学(学部)への入学状況(表4)

大学学部への入学者数は、60万4千人(国立10万3千人、公立2万4千人、私立47万7千人)で、前年度より4千人増加している。

- ①入学者の「出身高等学校の所在地県」と「入学した大学の所在地県」との関係を見ると、大学(学部)の入学者のうち、「自県(出身高等学校と同一県)内の大学へ入学した者の比率」は39.1%(前年度より0.3ポイント上昇)となっている。
- ②これを男女別にみると、男子は37.7%(前年度より0.4ポイント上昇)、女子は41.3%(前年度より0.1ポイント上昇)となっている。

イ. 大学院への入学状況（表4、表5）

大学院への入学者数は、修士課程では7万3千人（男子5万3千人、女子2万人）で前年度より2千人増加しており、博士課程では1万7千人（男子1万2千人、女子5千人）で前年度より百人増加している。

修士課程の入学者数を年齢別に見ると、「22歳」が3万1千人（42.8%）で最も多く、次いで「23歳」1万9千人（25.9%）,「24歳」6千人（8.6%）等の順となっている。

また、修士課程の入学者のうち、「社会人」は8千人（11.5%）,「留学生」は5千人（6.5%）となっている。

表4 入学状況（大学、大学院）

区 分	学 部 入 学 状 況							大学院入学者数		
	入 学 者 数				自 県 内 入 学 率			修士課程	博士課程	うち社会人
	計	国 立	公 立	私 立	計	男	女			
	人	人	人	人	%	%	%	人	人	人
平成3年度	521,899	102,668	14,473	404,758	35.2	33.0	40.1	34,927	8,505	...
8	579,148	108,910	18,808	451,430	36.2	34.2	39.6	56,567	14,345	...
9	586,688	109,256	20,235	457,197	36.3	34.6	39.4	57,065	14,683	...
10	590,743	107,311	21,205	462,227	37.1	35.2	40.3	60,241	15,491	...
11	589,559	105,240	22,629	461,690	37.8	36.4	40.2	65,382	16,276	...
12	599,655	103,054	23,578	473,023	38.8	37.3	41.2	70,336	17,023	7,264
13	603,953	103,013	24,125	476,815	39.1	37.7	41.3	72,561	17,128	8,372

（注）大学院入学者数の「うち社会人」は修士課程、区分制博士課程（前期2年の課程）及び一貫制博士課程についてである。

表5 大学院（修士課程）の年齢別入学状況

区 分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳
計	72,561 (100.0)	508 (0.7)	31,067 (42.8)	18,787 (25.9)	6,214 (8.6)	2,560 (3.5)	1,621 (2.2)	1,321 (1.8)	1,057 (1.5)	973 (1.3)
男	52,748 (100.0)	393 (0.7)	22,542 (42.7)	14,574 (27.6)	4,720 (8.9)	1,712 (3.2)	995 (1.9)	804 (1.5)	606 (1.1)	604 (1.1)
女	19,813 (100.0)	115 (0.6)	7,525 (38.0)	4,213 (21.3)	1,494 (7.5)	848 (4.3)	626 (3.2)	517 (2.6)	451 (2.3)	369 (1.9)

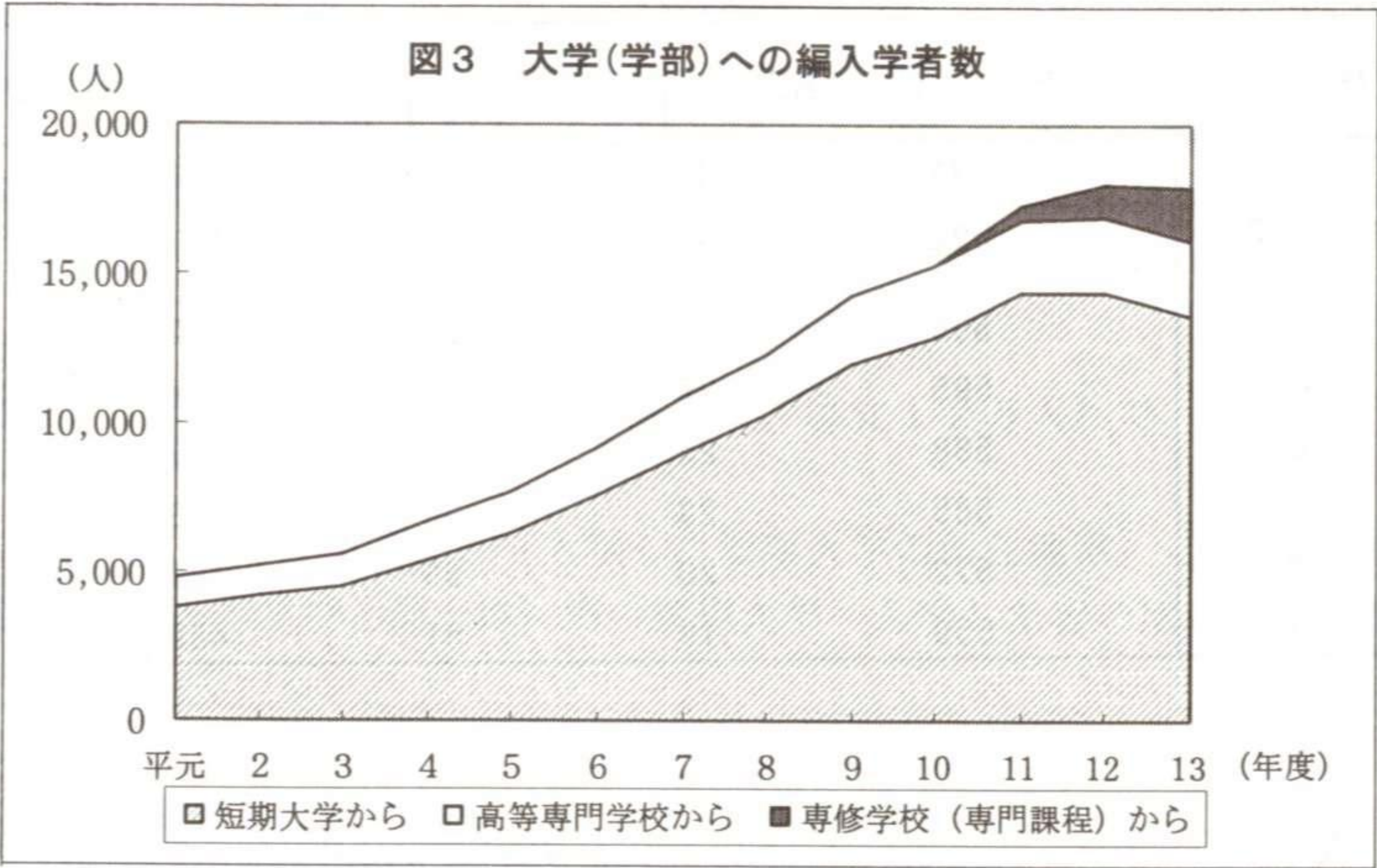
（つづき）

区 分	30歳～ 34歳	35歳～ 39歳	40歳～ 44歳	45歳～ 49歳	50歳～ 54歳	55歳～ 60歳	61歳 以上	計のうち	
								社会人	留学生
計	3,365 (4.6)	2,157 (3.0)	1,250 (1.7)	707 (1.0)	522 (0.7)	258 (0.4)	194 (0.3)	8,372 (11.5)	4,712 (6.5)
男	1,970 (3.7)	1,257 (2.4)	651 (1.2)	344 (0.7)	278 (0.5)	155 (0.3)	143 (0.3)	4,958 (9.4)	2,464 (4.7)
女	1,395 (7.0)	900 (4.5)	599 (3.0)	363 (1.8)	244 (1.2)	103 (0.5)	51 (0.3)	3,414 (17.2)	2,248 (11.3)

（注）平成13年5月1日現在の年齢である。

(6) 大学への編入学者数 (図3)

大学（学部）への編入学者数は、短期大学からの編入学者が1万4千人（男子4千人，女子1万人），高等専門学校からは2千5百人（男子2千2百人，女子4百人），専修学校（専門課程）からは1千7百人（男子1千人，女子7百人）となっている。



(7) 教員数 (表6)

教員数は、本務者が15万3千人（国立6万1千人，公立1万1千人，私立8万1千人）で，前年度より2千人増加している。また，兼務者は14万3千人（国立3万9千人，公立9千人，私立9万5千人）で，前年度より5千人増加している。

表6 本務教員数 (大学)

区 分	計			国立	公立	私立	女子教員の比率
	男	女					
	人	人	人	人	人	人	%
平成3年度	126,445	114,612	11,833	54,289	6,846	65,310	9.4
8	139,608	124,003	15,605	58,258	8,509	72,841	11.2
9	141,782	125,217	16,565	58,855	8,880	74,047	11.7
10	144,310	126,525	17,785	59,557	9,420	75,333	12.3
11	147,579	128,545	19,034	60,205	10,026	77,348	12.9
12	150,563	130,249	20,314	60,673	10,513	79,377	13.5
13	152,572	131,105	21,467	60,973	10,769	80,830	14.1

2 短期大学

(1) 学 校 数 (表7)

学校数は、559校（国立19校、公立51校、私立489校）で、前年度より13校減少している。

表7 短期大学の設置者別学校数

区 分	計	国立	公立	私立	私立の割合
	校	校	校	校	%
平成3年度	592	41	54	497	84.0
8	598	33	63	502	83.9
9	595	29	62	504	84.7
10	588	25	60	503	85.5
11	585	23	59	503	86.0
12	572	20	55	497	86.9
13	559	19	51	489	87.5

(2) 学 生 数 (表8)

学生数は、28万9千人（男子3万1千人、女子25万8千人）で、前年度より3万8千人減少している。また、学生数のうち本科学生は27万9千人、専攻科・別科等の学生は1万人となっている。

①学生数を設置者別にみると、国立7千人（学生数の2.4%）、公立2万人（同6.9%）、私立26万2千人（同90.8%）となっている。

②学生数のうち女子学生の占める比率は89.2%で、前年度より0.4ポイント低下している。

表8 学 生 数 （短期大学）

区 分	計	うち本科	うち女子	女子の占める比率	国 立	公 立	私 立
	人	人	人	%	人	人	人
平成3年度	504,087	497,559	461,812	91.6	18,018	22,651	463,418
8	473,279	463,948	429,290	90.7	11,982	24,091	437,206
9	446,750	437,358	402,929	90.2	10,754	23,957	412,039
10	416,825	407,407	375,372	90.1	9,648	23,254	383,923
11	377,852	368,237	339,741	89.9	8,710	22,465	346,677
12	327,680	318,258	293,690	89.6	7,772	21,061	298,847
13	289,198	279,487	258,107	89.2	6,808	19,941	262,449

(3) 関係学科別学生の構成 (表9)

本科学生の関係学科別構成比をみると、「家政」が24.2%で最も高く、次いで「教育」21.4%、「人文」17.2%、「社会」13.9%等の順となっている。さらに、その年次推移をみると、「保健」、「教育」の比率は年々上昇しているが、「人文」、「教養」は低下してきている。

表9 関係学科別学生数の比率の推移（短期大学本科）

区 分	計	人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成3年度	100.0	26.2	13.2	3.3	5.0	0.8	5.6	24.2	16.0	5.7
8	100.0	25.8	13.3	3.3	4.6	0.8	6.7	23.5	15.6	6.5
9	100.0	25.2	13.3	3.1	4.5	0.8	7.3	23.5	15.8	6.5
10	100.0	24.2	13.2	3.0	4.3	0.8	7.9	23.7	16.2	6.6
11	100.0	22.9	13.1	2.8	4.2	0.9	8.5	23.9	17.1	6.6
12	100.0	19.9	13.6	2.6	4.2	0.9	9.3	24.3	18.9	6.3
13	100.0	17.2	13.9	2.4	4.1	1.0	10.0	24.2	21.4	5.9

(4) 入学状況（表10）

本科への入学者数は13万人（国立2千人，公立8千人，私立12万人）で，前年度より1万1千人減少している。

①入学者の「出身高等学校の所在地県」と「入学した短期大学の所在地県」との関係を見ると，本科の入学者のうち，「自県（出身高等学校と同一県）内の短期大学へ入学した者の比率」は59.5%で，前年度より0.2ポイント上昇している。

①これを男女別にみると，男子は51.0%（前年度より1.2ポイント低下），女子は60.5%（前年度より0.4ポイント上昇）となっている。

表10 入学状況（短期大学本科）

区 分	入 学 者 数				自 県 内 入 学 率		
	計	国 立	公 立	私 立	計	男	女
	人	人	人	人	%	%	%
平成3年度	249,552	5,601	9,854	234,097	58.3	49.9	59.0
8	220,875	3,366	10,459	207,050	58.1	50.7	58.8
9	207,546	3,174	9,960	194,412	57.8	50.8	58.5
10	191,430	2,774	9,524	179,132	58.0	51.8	58.7
11	168,974	2,483	9,078	157,413	58.0	50.3	58.8
12	141,491	2,228	8,445	130,818	59.3	52.2	60.1
13	130,246	1,836	8,080	120,330	59.5	51.0	60.5

(5) 教 員 数（表11）

教員数は，本務者が1万6千人（国立6百人，公立1千8百人，私立1万3千人）で，前年度より1千人減少している。また，兼務者は3万2千人（国立2千人，公立3千人，私立2万7千人）で，前年度より2千人減少している。

表11 本 務 教 員 数（短期大学）

区 分	計			国立	公立	私立	女子教員の比率
	男	女					
	人	人	人	人	人	人	%
平成3年度	20,933	12,894	8,039	1,339	2,004	17,590	38.4
8	20,294	12,068	8,226	1,038	2,220	17,036	40.5
9	19,885	11,722	8,163	986	2,271	16,628	41.1
10	19,040	11,092	7,948	888	2,133	16,019	41.7
11	18,206	10,426	7,780	790	2,036	15,380	42.7
12	16,752	9,413	7,339	713	1,863	14,176	43.8
13	15,638	8,661	6,977	610	1,769	13,259	44.6

3 高等専門学校（表12）

（1）学 校 数

学校数は、62校（国立54校、公立5校、私立3校）で前年度と同数となっている。

（2）学 生 数

学生数は、5万7千人（国立5万人、公立4千6百人、私立2千2百人）で前年度より3百人増加している。
このうち女子学生（1万人）の占める比率は18.4%で、前年度より0.3ポイント低下している。

（3）入 学 者 数

入学者数は、1万1千人（男子9千人、女子2千人）で前年度より百人増加している。

（4）教 員 数

教員数は、本務者が4千5百人（男子4千3百人、女子2百人）で、前年度とほぼ同数となっている。
また、兼務者は2千6百人（男子2千3百人、女子3百人）で、前年度より百人減少している。

表12 学校数、学生数等の推移（高等専門学校）

区 分	学 校 数（校）				学 生 数（人）				入 学 者 数（人）				教員数 （本務者） （人）
	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	
平成3年度	63	54	5	4	53,698	46,436	4,190	3,072	11,191	9,625	922	644	4,061
8	62	54	5	3	56,396	49,171	4,521	2,704	11,269	9,782	939	548	4,345
9	62	54	5	3	56,294	49,203	4,511	2,580	11,277	9,835	934	508	4,384
10	62	54	5	3	56,214	49,326	4,497	2,391	11,306	9,906	938	462	4,408
11	62	54	5	3	56,436	49,565	4,511	2,360	11,330	9,895	932	503	4,433
12	62	54	5	3	56,714	49,897	4,556	2,261	11,225	9,886	936	403	4,459
13	62	54	5	3	57,017	50,177	4,604	2,236	11,315	9,915	933	467	4,467

（注）「学生数」には、学科の学生のほか専攻科の学生を含む。

4 大学・大学院・短期大学の通信教育（表13）

（1）学 校 数

通信による教育を行う大学は25校（うち通信制の大学院を置く大学7校）、短期大学は10校で、前年度より大学は3校増加（通信制の大学院を置く大学は1校増加）し、短期大学は同数となっている。

（2）学 生 数

学生数は大学22万3千人（男子9万8千人、女子12万6千人）、大学院1千人（男子6百人、女子4百人）、短期大学2万6千人（男子8千人、女子1万8千人）で、前年度より大学は4千人、大学院は2百人それぞれ増加し、短期大学は2千人減少している。

①正規の課程の学生数は大学18万人（男子7万7千人、女子10万4千人）、大学院1千人（男子6百人、女子4百人）、短期大学2万4千人（男子8千人、女子1万7千人）で、前年度より大学は4千人、大学院は3百人それぞれ増加し、短期大学は2千人減少している。

②正規の課程の学生の関係学科構成比をみると、大学では「社会科学」が35.5%で最も高く、次いで「教育」14.6%、「人文科学」14.1%等の順となっている。また、大学院では「教育」が31.9%で最も高く、次いで「社会科学」28.9%、「人文科学」19.0%等の順、短期大学では「教育」が51.5%で最も高く、次いで「社会」33.6%等の順となっている。

(3) 入学者数(正規の課程)

正規の課程の入学者数は大学2万人(男子9千人, 女子1万1千人), 大学院5百人(男子3百人, 女子2百人), 短期大学5千人(男子1千5百人, 女子3千4百人)で, 前年度より大学は4千人, 大学院は百人それぞれ増加し, 短期大学は4百人減少している。

表13 学校数, 学生数, 入学者数及び教員数(本務者)の推移
(大学・大学院・短期大学〔通信教育〕)

区 分	大 学							短 期 大 学					大 学 院				
	学 校 数			学生数	うち正規 の課程	入学者数	教員数 (本務者)	学校数 私 立	学生数	うち正規 の課程	入学者数	教員数 (本務者)	学校数 私 立	学生数	うち正規 の課程	入学者数	教員数 (本務者)
	計	放送大学 学園立	私 立 通信教 育部を 置くもの														
平成3年度	校	校	校	人	人	人	人	校	人	人	人	人	校	人	人	人	人
	13	1	12	150,070	133,376	18,313	76	9	37,416	36,089	13,760	24
8	16	1	15	218,432	174,868	16,480	113	10	41,733	40,431	11,925	47
9	16	1	15	222,007	175,074	14,973	113	10	38,817	37,539	9,700	43
10	17	1	16	217,969	168,889	12,004	120	10	34,974	33,718	8,563	48
11	18	1	17	216,687	172,356	14,915	124	10	31,868	30,173	6,332	70	(3) 1	368	368	368	7
12	20	1	19	219,711	175,898	15,591	143	10	28,108	26,622	5,285	32	(4) 2	763	747	388	10
13	23	1	22	223,481	180,244	19,990	162	10	25,966	24,428	4,912	32	(5) 2	1,009	1,000	460	8

(注) 大学院の「学校数」の()内は大学の「学校数」の再掲である。

[卒業後の状況調査]

1 大学（学部）卒業者

(1) 卒業者数

平成13年3月に大学（学部）を卒業した者（年度途中の卒業者を含む。以下同じ。）は、54万6千人（男子33万6千人、女子21万人）で前年より7千人増加している。

これを設置者別にみると、国立10万5千人（前年より1千人増）、公立1万9千人（1千人増）、私立42万2千人（5千人増）となっている。

(2) 卒業者の進路（表14、図4）

卒業者を進路別にみると、「大学院等への進学者」（就職し、かつ進学した者を含む。以下同じ。）5万9千人（全卒業者数の10.8%）、「就職者」（就職し、かつ進学した者を除く。）31万2千人（同57.3%）、「臨床研修医」（予定者を含む。以下同じ。）7千人（同1.2%）、「一時的な仕事に就いた者」2万2千人（同3.9%）、「左記以外の者」11万6千人（同21.3%）、「死亡・不詳の者」3万人（同5.5%）となっている。

ア. 進学状況

①大学院等への進学者数は5万9千人（男子4万4千人、女子1万4千人）で、前年より1千人増加している。

②進学率（卒業者のうち大学院等への進学者及び就職し、かつ進学した者の占める比率。以下同じ。）は10.8%（男子13.2%、女子6.9%）で、前年より0.1ポイント上昇している。

イ. 就職状況（表15、図5～図10）

①就職者総数（「大学院等進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ。）は、31万2千人（男子18万8千人、女子12万5千人）で、前年より1万2千人増加している。

②就職率（卒業者数のうち就職者総数の占める比率。以下同じ。）は、57.3%（男子55.9%、女子59.6%）で、前年より1.5ポイント上昇している。

③就職率を関係学科別にみると、「家政」が68.2%で最も高く、次いで「社会科学」62.2%、「工学」58.0%等の順となっている。

図4 大学（学部）卒業者の進路状況

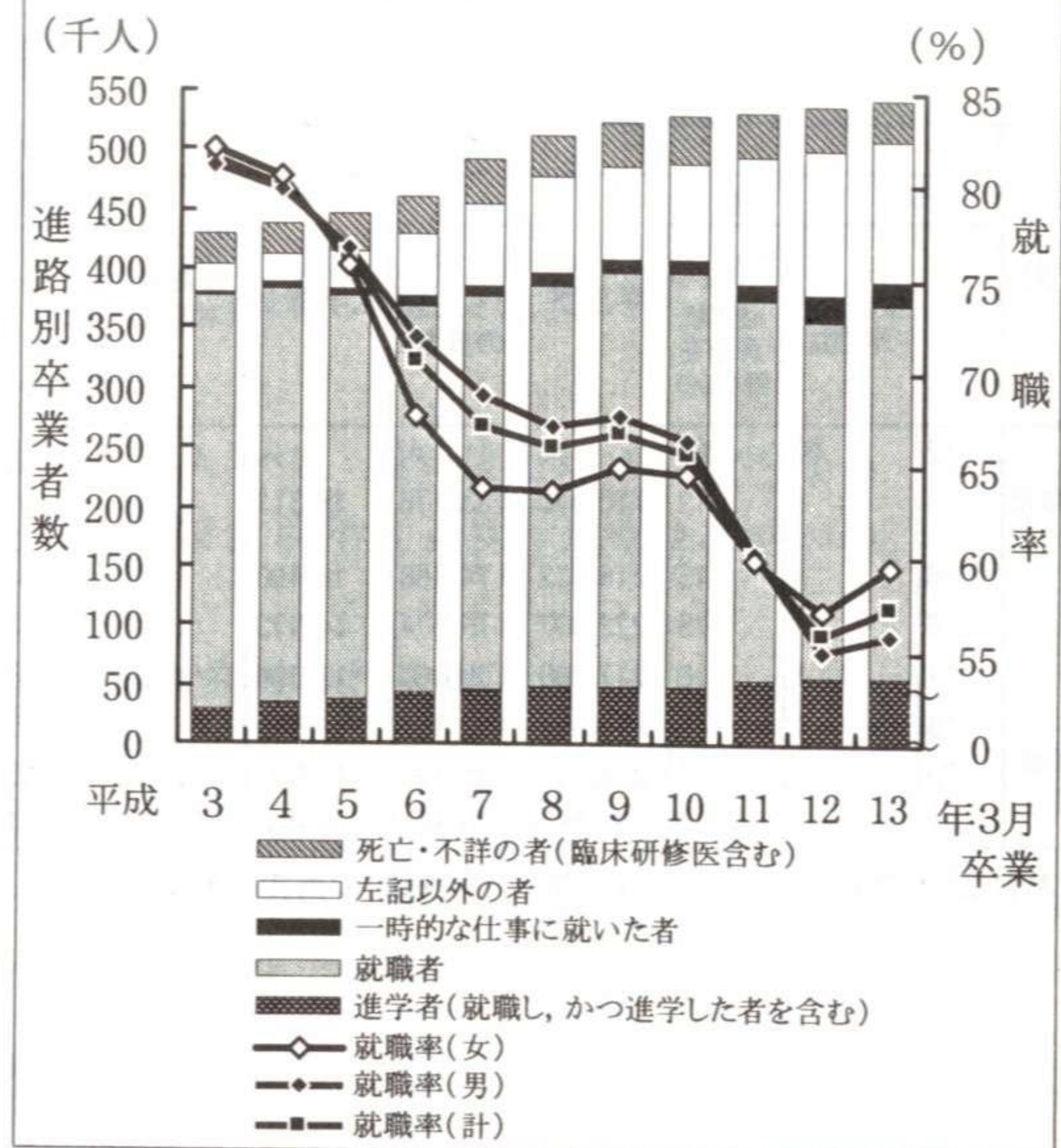


図5 大学（学部）卒業者の就職先産業別（主な5業種）構成の状況

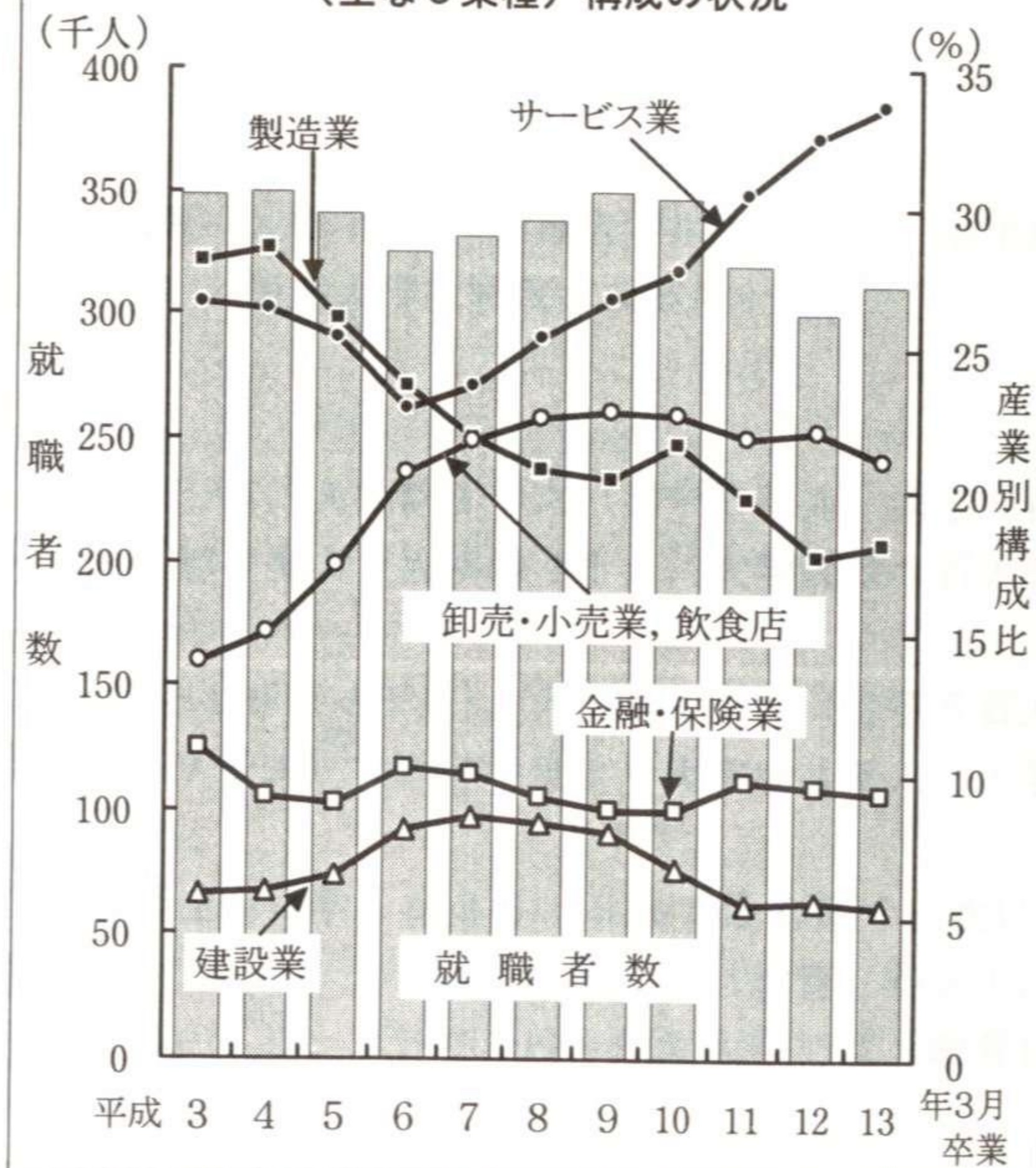


表14 進路別卒業生の推移（大学[学部]）

区 分	計 (a)	進学者 (b)	就職者 (c)	臨 床 研修医 (予定者含)	一時的な 仕事に 就いた者	左記以外の 者	死亡・不詳	(再掲)左記 「進学者」の うち就職し ている者(d)	進学率 (b/a) ×100	就職率 (c+d)/a × 100		
										計	男	女
平成3年3月	428,079	30,028	347,862	7,249	3,482	22,121	17,337	23	7.0	81.3	81.1	81.8
8	512,814	48,218	337,805	6,716	10,514	80,366	29,195	15	9.4	65.9	67.1	63.5
9	524,512	47,906	349,241	6,851	10,738	79,936	29,840	30	9.1	66.6	67.5	64.8
10	529,606	49,706	347,549	6,632	11,957	81,711	32,051	13	9.4	65.6	66.2	64.5
11	532,436	54,023	320,072	6,450	16,023	105,976	29,892	47	10.1	60.1	60.3	59.8
12	538,683	57,663	300,687	5,929	22,633	121,083	30,688	31	10.7	55.8	55.0	57.1
13	545,512	58,662	312,450	6,628	21,514	116,396	29,862	21	10.8	57.3	55.9	59.6

(注1) 「進学者」とは、大学院研究科、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科、別科へ入学した者である。

(注2) 「左記以外の者」とは、家事手伝い、研究生として学校に残っている者及び専修学校・各種学校・外国の学校・職業能力開発施設等へ入学(所)した者、または就職でも大学院等進学者でもないことが明らかな者である。

表15 関係学科別就職率の推移（大学[学部]）

区 分	計	人文科学	社会科学	理 学	工 学	農 学	保 健					商 船	家 政	教 育	芸 術	その他
							計	医 学	歯 学	薬 学	その他					
平成3年3月	81.3	81.4	88.7	68.0	80.0	77.9	43.3	0.3	39.3	74.4	88.5	57.6	88.3	81.1	69.3	81.6
8	65.9	61.5	73.2	50.1	68.2	62.5	38.8	0.2	39.8	59.4	75.5	32.3	71.5	58.9	46.9	64.8
9	66.6	63.4	73.8	51.4	69.1	62.5	39.0	0.2	31.0	58.2	78.3	36.3	73.9	57.6	48.6	64.9
10	65.6	62.6	72.9	51.8	67.5	62.3	40.5	0.2	25.6	59.3	78.9	33.9	72.4	54.8	46.1	65.5
11	60.1	56.9	67.0	46.8	61.5	56.8	41.8	0.1	25.6	57.1	79.7	30.7	66.5	51.4	38.9	59.4
12	55.8	52.3	61.6	41.8	56.2	54.1	43.2	0.2	20.7	57.2	79.5	32.9	65.1	50.7	35.9	56.8
13	57.3	54.3	62.2	43.8	58.0	56.2	45.1	0.2	24.5	56.4	81.8	34.0	68.2	53.6	39.6	57.4

- ④ 就職者総数を産業別にみると、「サービス業」が33.6%で最も高く、次いで「卸売・小売業、飲食店」21.0%、「製造業」18.2%、「金融・保険業」9.2%等の順となっている。

また、男女別にみると、男子は「サービス業」28.1%、「卸売・小売業、飲食店」22.8%、「製造業」21.4%等の順となっており、女子は「サービス業」42.0%、「卸売・小売業、飲食店」18.3%、「製造業」13.3%等の順となっている。

図6 産業別就職者数の比率（学部）

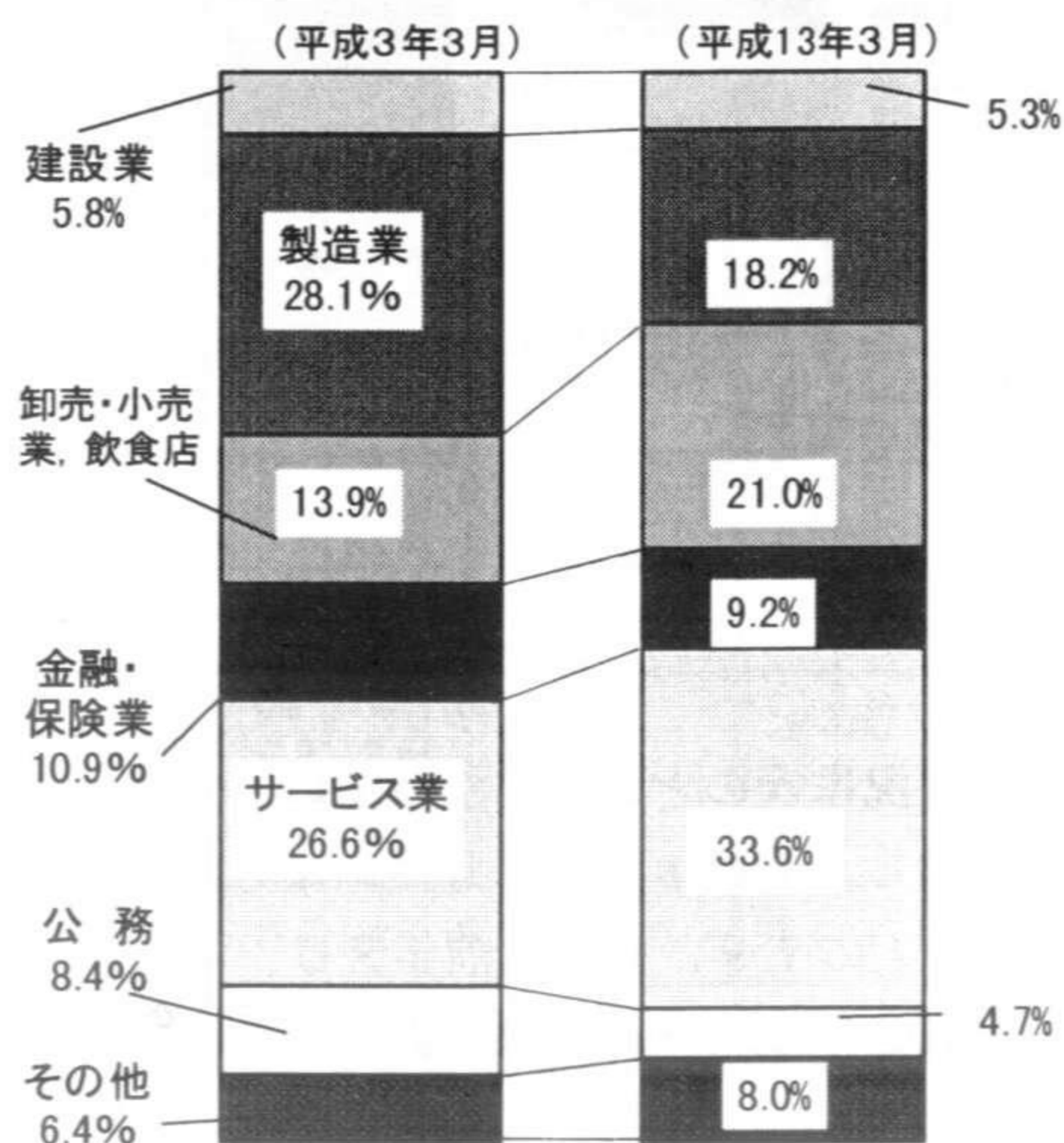
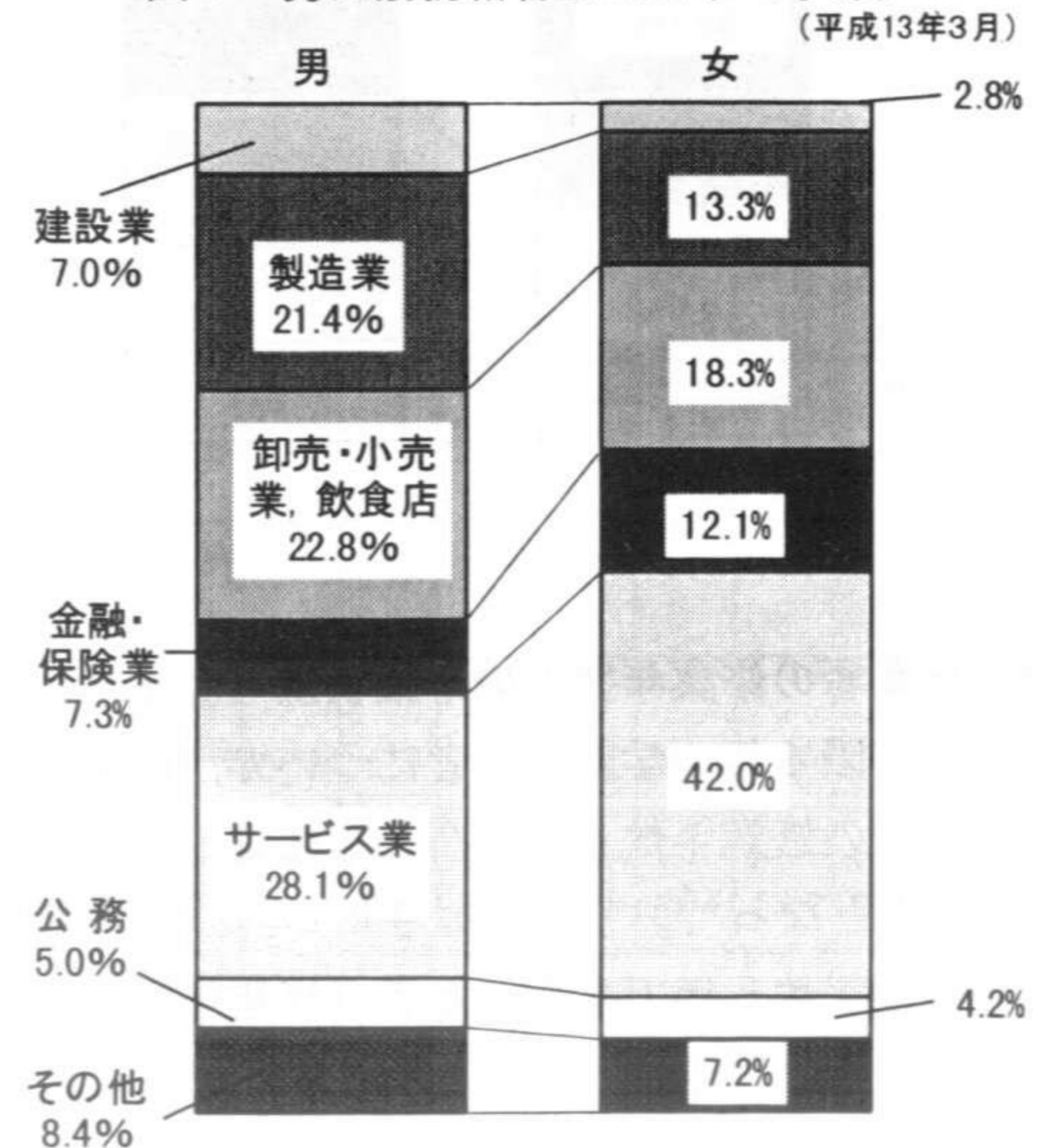
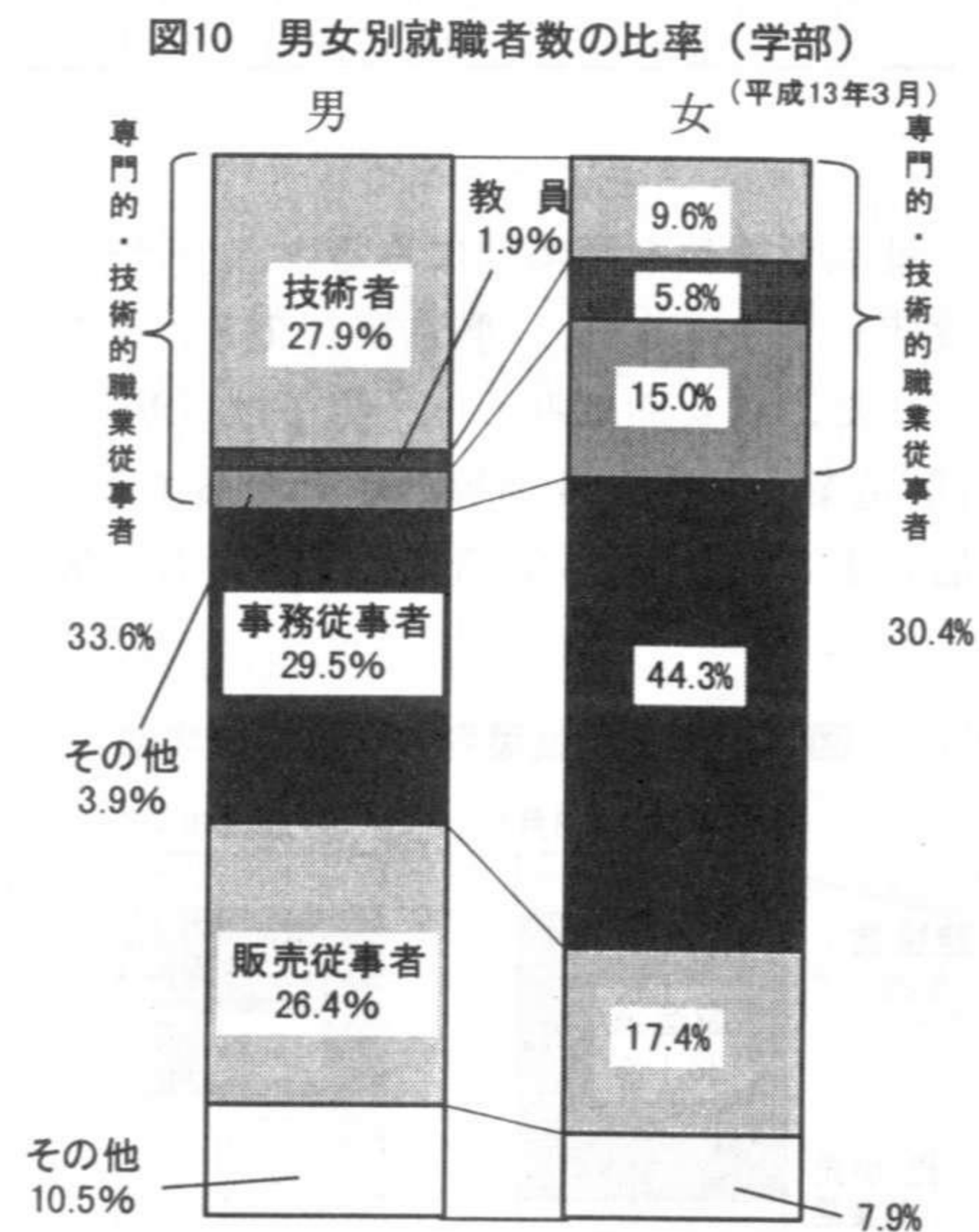
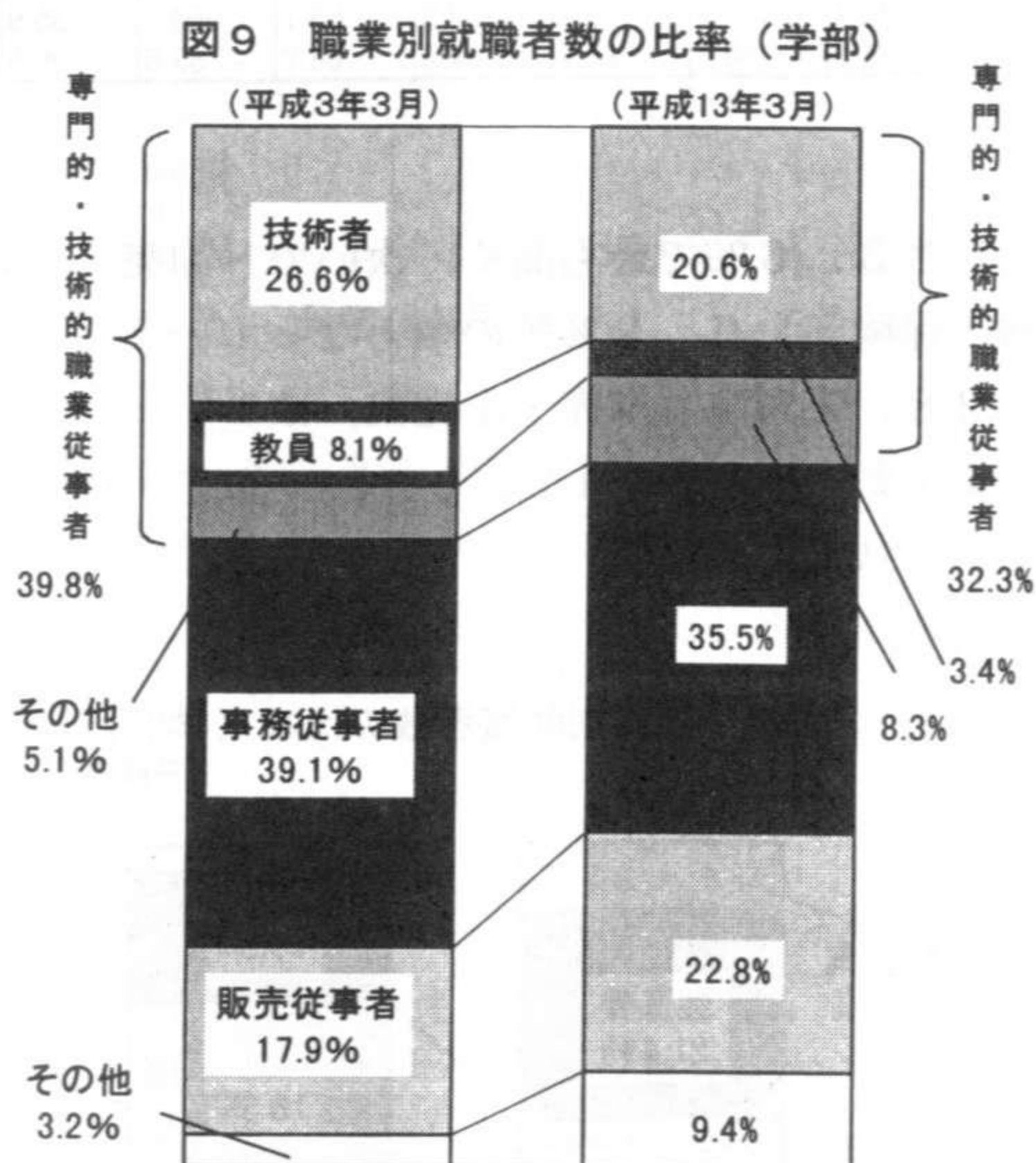
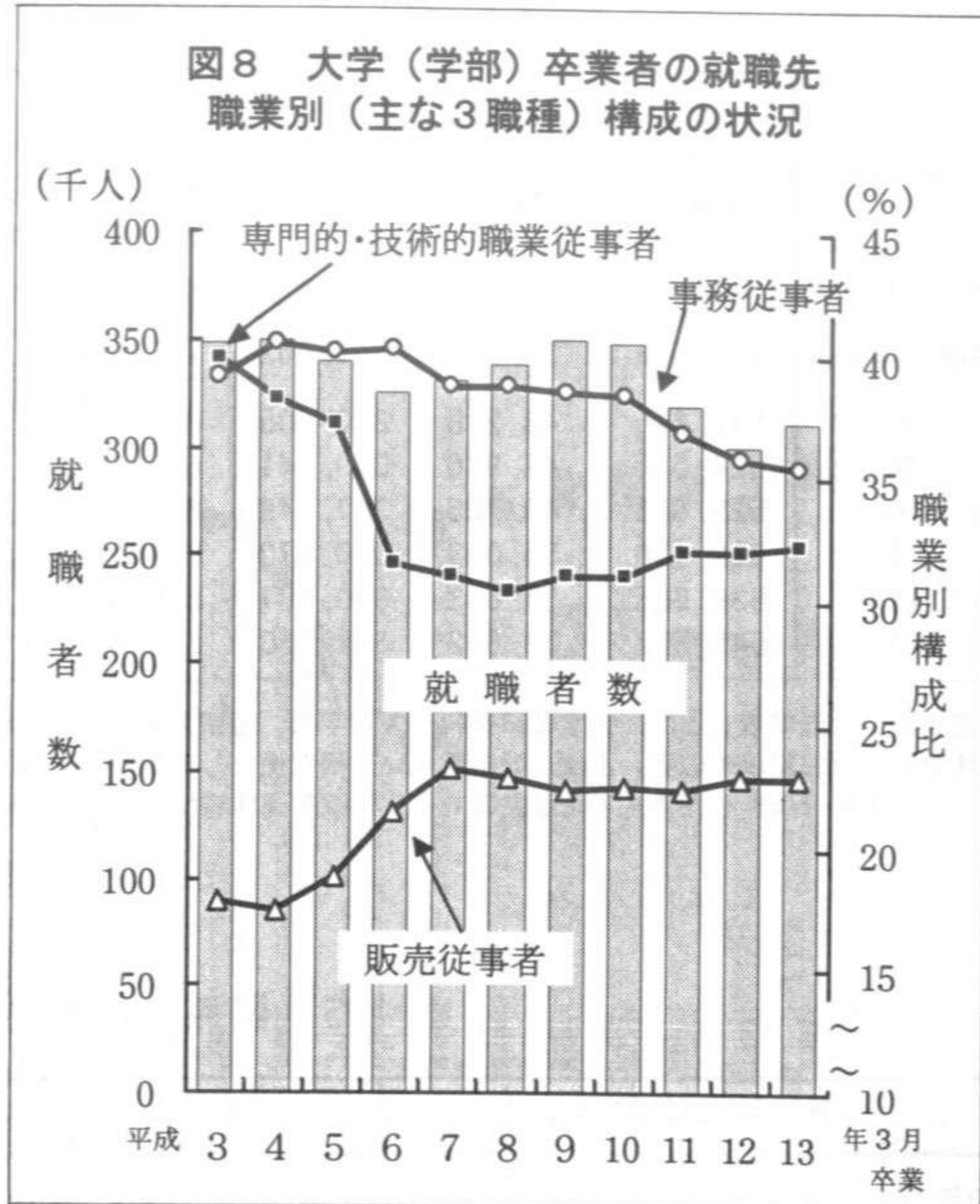


図7 男女別就職者数の比率（学部）



⑤ 就職者総数を職業別にみると、「事務従事者」が35.5%で最も高く、次いで「専門的・技術的職業従事者」32.3%（うち技術者20.6%、教員3.4%等）、「販売従事者」22.8%等の順となっている。

また、男女別にみると、男子は「専門的・技術的職業従事者」33.6%（うち技術者27.9%、教員1.9%等）、「事務従事者」29.5%、「販売従事者」26.4%の順となっており、女子は「事務従事者」44.3%、「専門的・技術的職業従事者」30.4%（うち技術者9.6%、教員5.8%等）、「販売従事者」17.4%等の順となっている。



3) 学部卒業者の修業年数別の卒業状況（表16）

ア. 修業年限4年の学部卒業者について、修業年限別の卒業状況は次のとおりとなっている。

- ① 所定の修業年数4年で卒業した者（平成9年4月に入学し、平成13年3月に卒業した者）は45万4千人となっており、平成9年4月の入学者数57万5千人の79.0%（前年80.1%）にあたる。
- ② 修業年数5年で卒業した者（修業年限を1年超過—平成8年度入学—）は4万8千人で、平成8年4月の入学者数の8.5%（前年7.9%）にあたる。

③修業年数6年で卒業した者（修業年限を2年超過－平成7年度入学－）は1万人で、平成7年4月入学者数の1.8%（前年1.6%）にあたる。

④修業年数7年及び8年以上で卒業した者については、それぞれ0.5%、0.3%となっている。

イ.平成5年4月入学者について、平成13年3月までの卒業者（所定修業年数卒業者＋1年超過卒業者＋2年超過卒業者＋3年超過卒業者＋4年以上超過卒業者）の占める比率は92.0%となっており、平成4年4月の入学者が平成12年までに卒業した比率92.4%より0.4ポイント低下している。

ウ.最短の修業年限で卒業した者の比率（a）の推移をみると、平成9年4月入学者の（a）は79.0%で、前年より1.1ポイント低下している。

表16 入学年度別卒業者の比率の状況(修業年限4年)(大学(学部))

(単位:%)

区 分		入 学 年 度																					
		平成 9	8	7	6	5	4	3	2	元	昭和 63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51
卒 業 年 （各 年 月）	昭和 55																						(a) 76.1
	56																					(a) 76.9	(b) 9.1
	57																				(a) 76.8	(b) 9.0	(c) 1.9
	58																		(a) 77.0	(b) 9.0	(c) 1.9	(d) 0.5	
	59																	(a) 77.4	(b) 9.1	(c) 1.7	(d) 0.4	(e) 0.2	
	60																(a) 77.3	(b) 9.2	(c) 1.9	(d) 0.5	(e) 0.2		
	61															(a) 77.5	(b) 9.4	(c) 1.9	(d) 0.5	(e) 0.2			
	62														(a) 78.0	(b) 9.2	(c) 2.0	(d) 0.5	(e) 0.2				
	63													(a) 78.9	(b) 9.2	(c) 1.9	(d) 0.5	(e) 0.3					
	平成 元												(a) 78.6	(b) 8.8	(c) 1.9	(d) 0.5	(e) 0.3						
	2											(a) 79.3	(b) 8.8	(c) 1.8	(d) 0.5	(e) 0.3							
	3										(a) 80.4	(b) 8.5	(c) 1.9	(d) 0.5	(e) 0.3								
	4									(a) 80.7	(b) 8.2	(c) 1.9	(d) 0.5	(e) 0.3									
3 月	5								(a) 81.2	(b) 8.2	(c) 1.8	(d) 0.5	(e) 0.3										
	6							(a) 81.5	(b) 8.2	(c) 1.8	(d) 0.5	(e) 0.3											
	7						(a) 82.2	(b) 8.4	(c) 1.9	(d) 0.5	(e) 0.3												
	8					(a) 82.3	(b) 8.2	(c) 1.8	(d) 0.5	(e) 0.3													
	9				(a) 82.1	(b) 7.8	(c) 1.8	(d) 0.5	(e) 0.3														
	10			(a) 81.9	(b) 7.6	(c) 1.7	(d) 0.4	(e) 0.2															
	11		(a) 80.9	(b) 7.6	(c) 1.6	(d) 0.4	(e) 0.2																
	12	(a) 80.1	(b) 7.9	(c) 1.6	(d) 0.4	(e) 0.2																	
	13	(a) 79.0	(b) 8.5	(c) 1.8	(d) 0.5	(e) 0.3																	
	計	79.0	88.6	90.6	91.6	92.0	92.4	92.8	92.4	92.1	91.5	91.2	90.5	90.1	90.3	89.9	89.5	89.5	89.3	88.7	88.2	88.4	87.8

(注)(a):各年度の入学者のうち最低修業年数の4年で卒業した者の比率

(b): " 5年(1年超過) "

(c): " 6年(2年超過) "

(d): " 7年(3年超過) "

(e): " 8年以上(4年以上超過) "

2 大学院修了者

(1) 修了者数

平成13年3月に大学院の修士課程を修了した者は、6万1千人（男子4万5千人、女子1万5千人）で前年より5千人増加している。また、博士課程を修了した者（所定の単位を修得し、学位を取得せずに満期退学した者を含む。以下同じ。）は1万3千人（男子1万人、女子3千人）で前年より1千人増加している。

これを設置者別にみると、修士課程では国立3万6千人（修了者の59.9%）、公立3千人（同4.4%）、私立2万2千人（同35.6%）となっており、博士課程では国立1万人（修了者の72.8%）、公立1千人（同4.7%）、私立3千人（同22.5%）となっている。

(2) 修了者の進路（図11、図12）

ア. 修士課程

修了者の進路別内訳は、「大学院等への進学者」9千人（修了者の15.2%）、「就職者」（就職し、かつ進学した者を除く。以下同じ。）3万9千人（同65.1%）、「左記以外の者」9千人（同15.3%）、「死亡・不詳の者」3千人（同4.4%）となっている。

①進学率は15.2%（男子14.6%、女子16.9%）で、前年より1.5ポイント低下している。

②就職率（修了者のうち就職者総数の占める比率）は65.4%（男子70.7%、女子49.7%）で、前年より2.5ポイント上昇している。

③就職者総数を産業別にみると、「製造業」が49.1%と最も高く、次いで「サービス業」29.5%、「公務」5.3%、「建設業」4.6%等の順となっている。

④就職者総数を職業別にみると、「技術者」63.1%、「教員」7.8%、「科学研究者」5.1%等「専門的・技術的職業従事者」が82.0%を占めている。

イ. 博士課程

修了者の進路別内訳は、「就職者」（就職し、かつ進学した者を除く。）7千人（修了者の56.6%）、「左記以外の者」5千人（同34.5%）、「死亡・不詳の者」1千人（同8.4%）等となっている。

①就職率は56.6%（男子59.2%、女子47.9%）で、前年より0.7ポイント上昇している。

②就職者総数を産業別にみると、「サービス業」が72.8%で最も高く、次いで「製造業」13.6%、「公務」4.9%等の順となっている。

③就職者総数を職業別にみると、「保健医療従事者」28.8%、「教員」28.4%、「科学研究者」18.6%、「技術者」14.8%等「専門的・技術的職業従事者」が92.2%を占めている。

図11 大学院（修士課程）修了者の進路状況

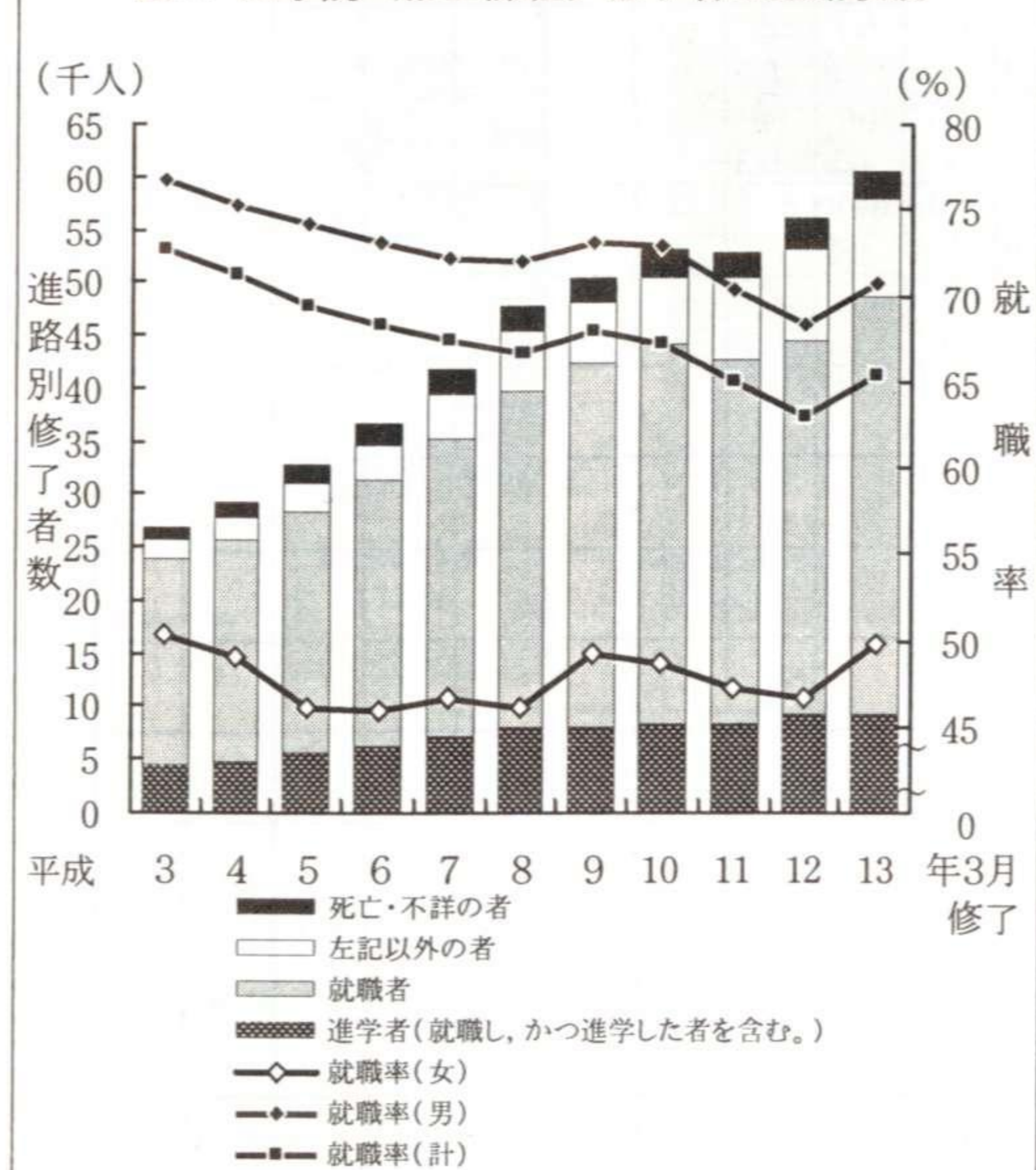
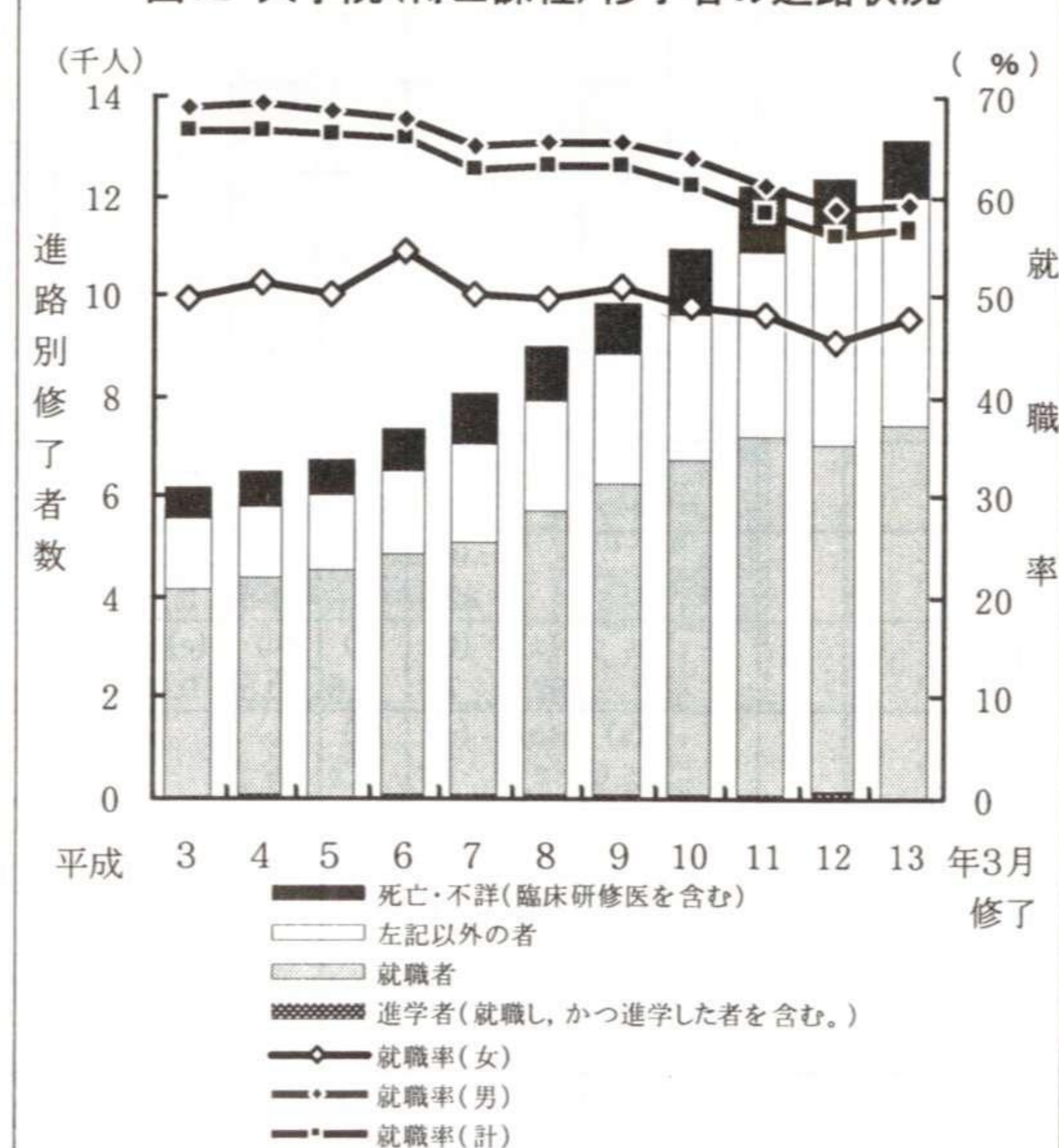


図12 大学院（博士課程）修了者の進路状況



3 短期大学卒業生

(1) 卒業生数

平成13年3月に短期大学（本科）を卒業した者は15万7千人（男子1万4千人，女子14万3千人）で，前年より2万1千人減少している。

これを設置者別にみると，国立3千人（前年より4百人減），公立9千人（5百人減），私立14万5千人（2万人減）となっている。

(2) 卒業生の進路（表17，図13）

卒業生の進路別内訳は，「大学等への進学者」（就職し，かつ進学した者を含む。以下同じ。）1万6千人（全卒業生の10.2%），「就職者」（就職し，かつ進学した者を除く。）9万3千人（同59.1%），「一時的な仕事に就いた者」1万3千人（同8.0%），「左記以外の者」3万3千人（同20.9%），「死亡・不詳の者」3千人（同1.8%）となっている。

ア. 進学状況

①大学等への進学者数は1万6千人（男子4千人，女子1万2千人）で，前年より8百人減少している。

②進学率（卒業生のうち大学等への進学者及び就職し，かつ進学した者の占める比率。以下同じ。）は10.2%（男子26.2%，女子8.6%）で，前年より0.8ポイント上昇している。

イ. 就職状況（表18，図14～図17）

①就職者総数（「大学等への進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ。）は9万3千人（男子6千人，女子8万6千人）で，前年より7千人減少している。

②就職率（卒業生のうち就職者及び就職し，かつ進学した者の占める比率。以下同じ。）は59.1%（男子44.4%，女子60.5%）で，前年より3.1ポイント上昇している。

③就職率を関係学科別にみると，「保健」，「教育」がいずれも75.6%，次いで「社会」61.8%等の順となっている。

④就職者総数を産業別にみると，「サービス業」が53.4%で最も高く，次いで「卸売・小売業，飲食店」17.9%，「製造業」11.3%，「金融・保険業」8.8%等の順となっている。

⑤就職者総数を職業別にみると，「専門的・技術的職業従事者」41.4%（うち保健医療従事者12.9%，教員8.2%，技術者2.7%等）で最も高く，次いで「事務従事者」36.6%，「販売従事者」11.5%等の順となっている。

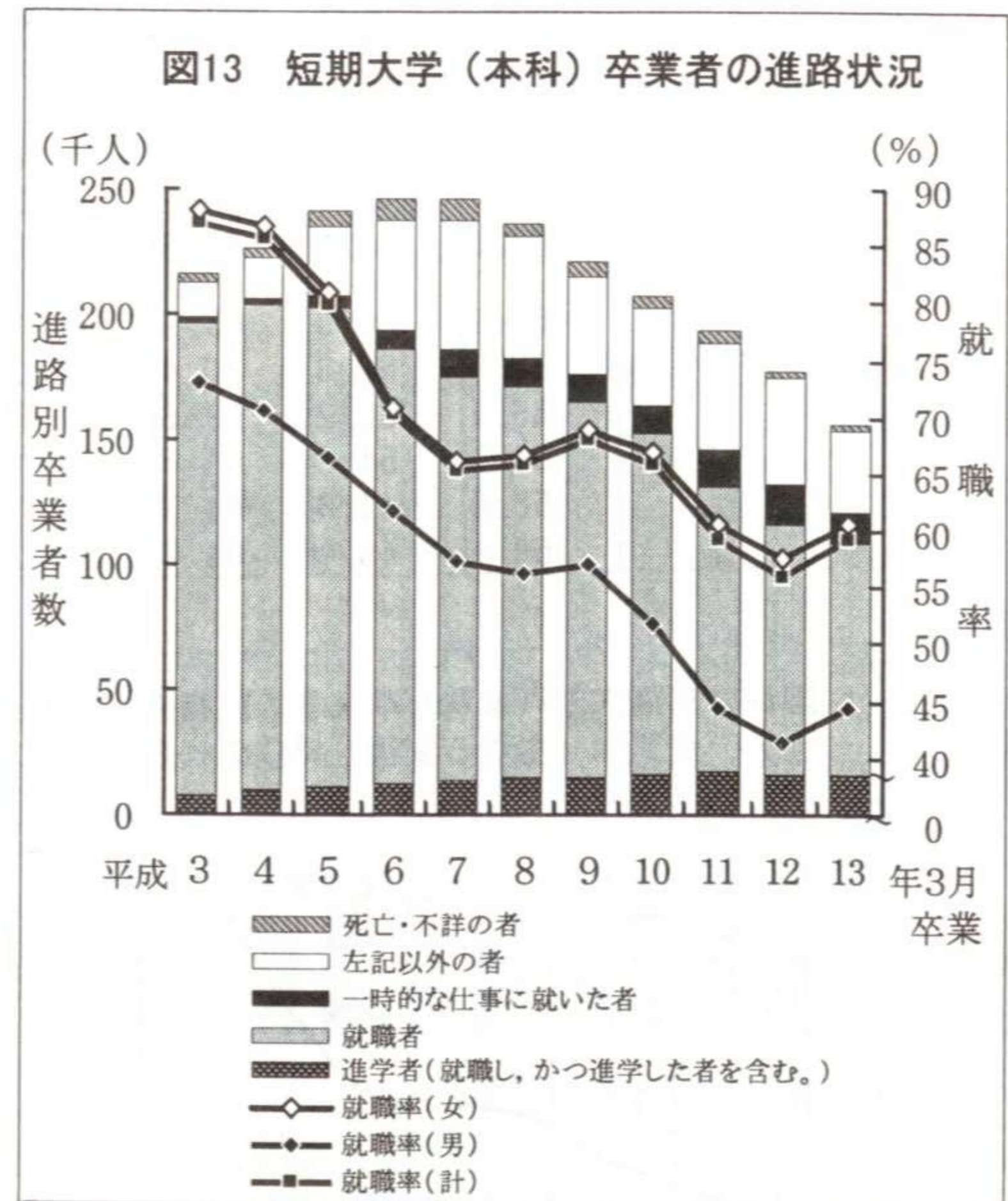


表17 進路別卒業生の推移(短期大学[本科])

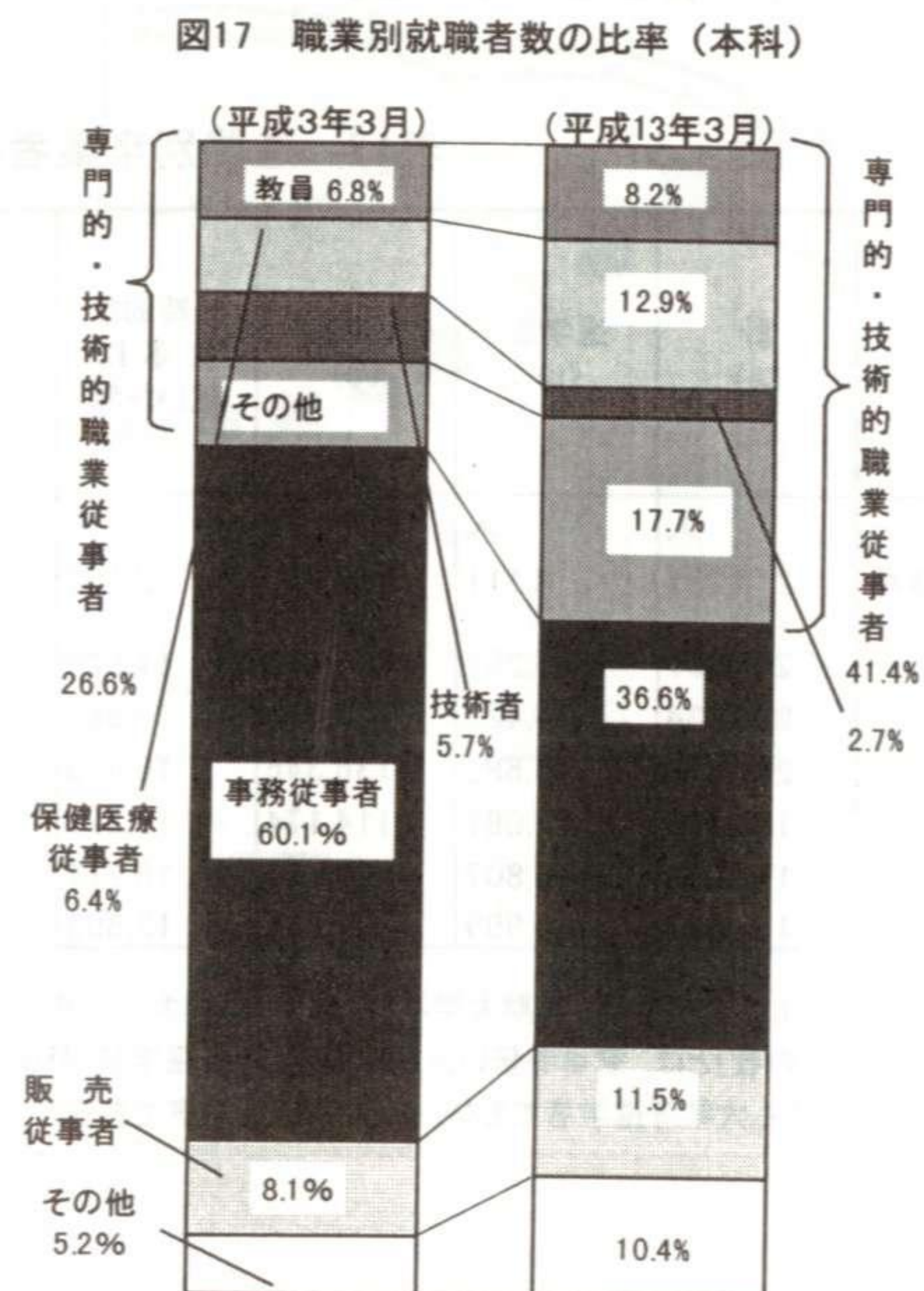
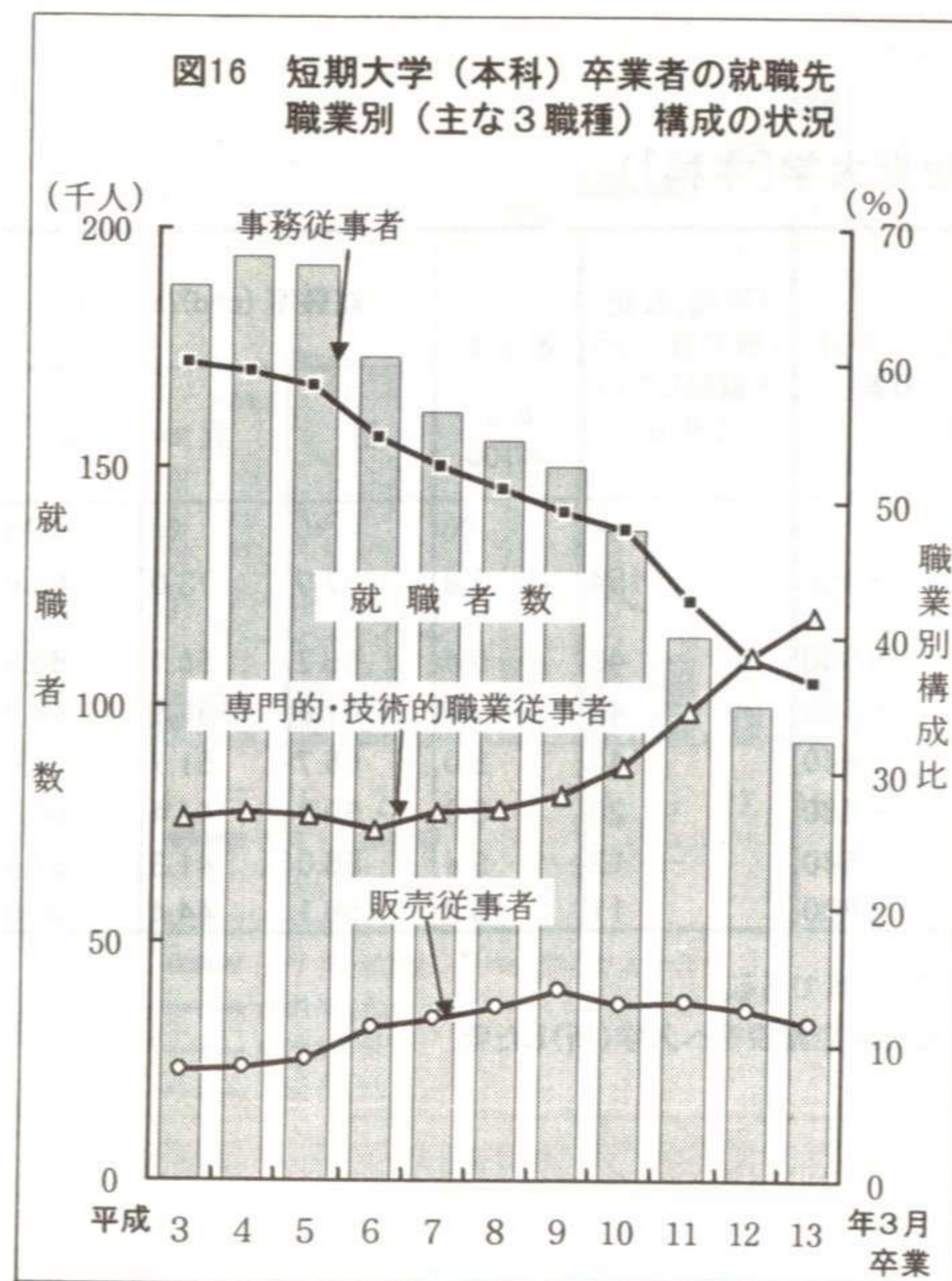
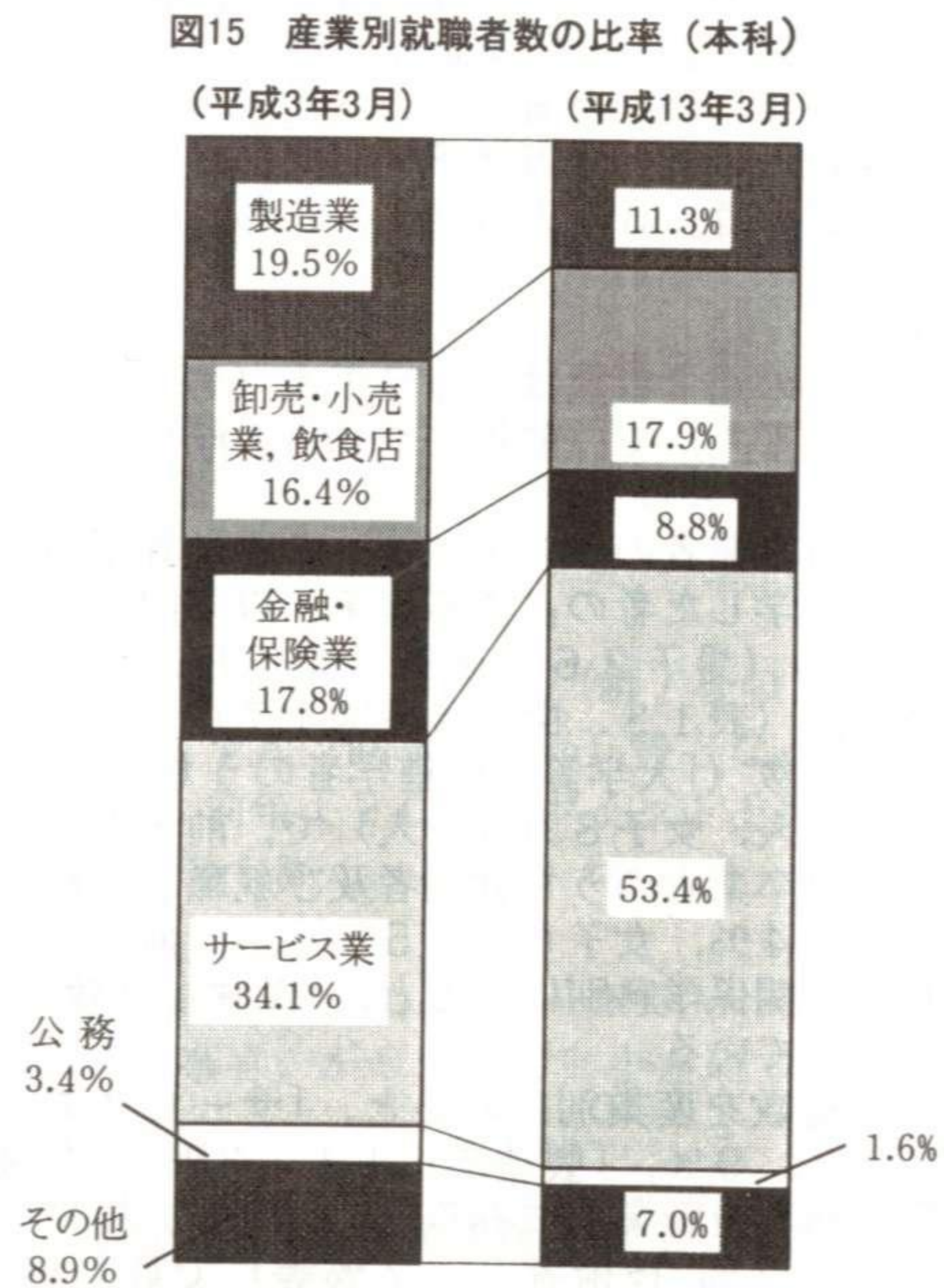
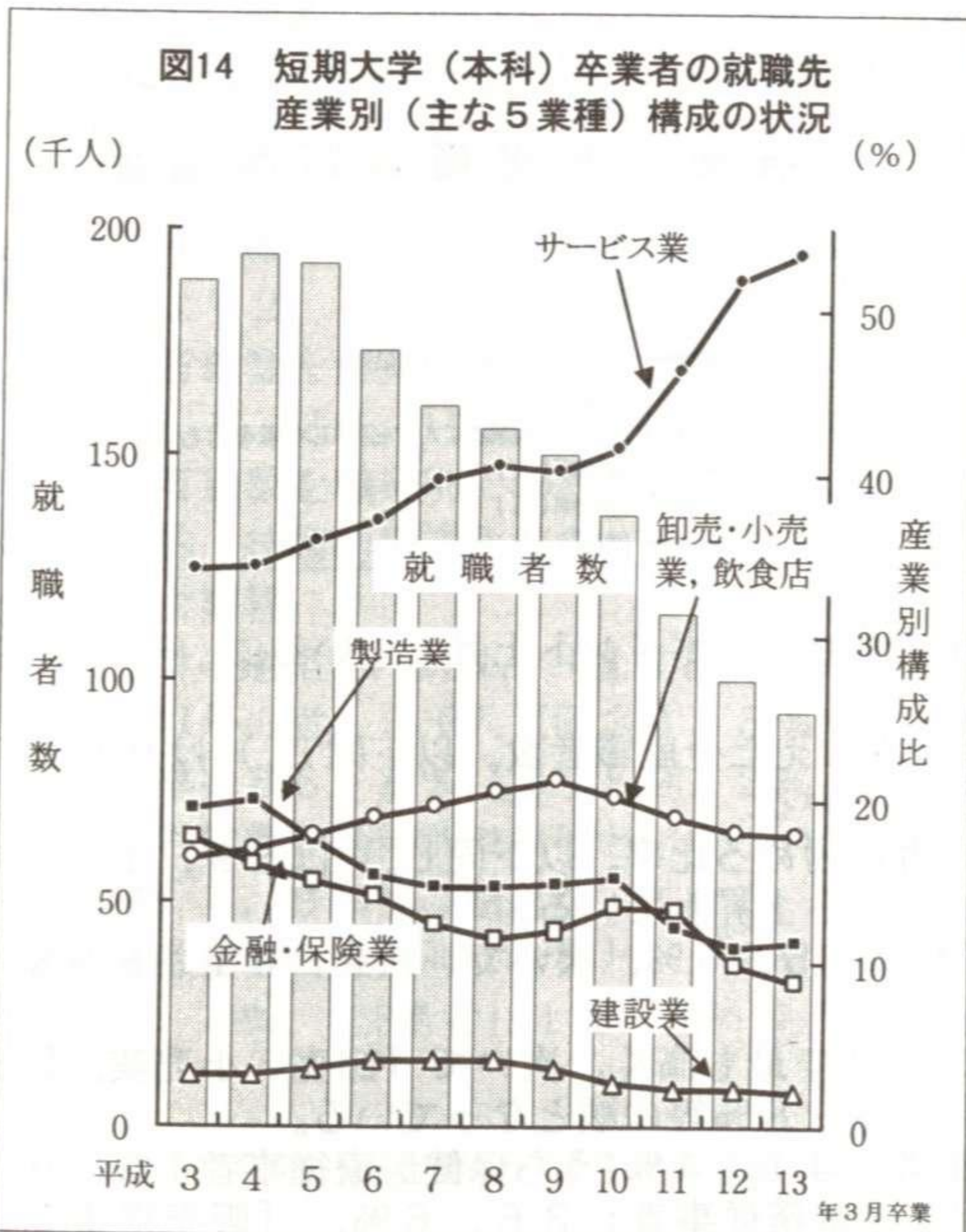
区 分	計 (a)	進学者 (b)	就職者 (c)	一時的な 仕事に 就いた者	左記以外の 者	死亡・不詳 の者	(再掲)左記 「進学者」の うち就職してい る者(d)	進学率 b/a ×100	就職率 (c+d)/a × 100		
									計	男	女
平成3年3月	人 216,267	人 8,111	人 187,980	人 2,107	人 14,613	人 3,456	人 154	% 3.8	% 87.0	% 73.0	% 88.0
8	236,557	15,252	155,433	11,526	48,486	5,860	43	6.4	65.7	56.1	66.5
9	220,934	15,422	150,015	10,563	39,594	5,340	49	7.0	67.9	56.9	68.9
10	207,528	16,680	136,346	10,476	38,586	5,440	43	8.0	65.7	51.7	67.0
11	193,190	17,087	114,174	15,371	42,098	4,460	20	8.8	59.1	44.4	60.5
12	177,909	16,807	99,641	16,217	41,704	3,540	12	9.4	56.0	41.3	57.4
13	156,837	15,999	92,661	12,605	32,772	2,800	11	10.2	59.1	44.4	60.5

(注1) 「進学者」とは，大学学部，短期大学本科，大学・短期大学の専攻科，別科へ入学した者である。

(注2) 「左記以外の者」とは，家事手伝い及び専修学校・各種学校・外国の学校・職業能力開発施設等へ入学(所)した者，または就職でも大学等進学者でもないことが明らかな者である。

表18 関係学科別就職率の推移（短期大学〔本科〕）

区分	計	人 文 社 会	教 養	工 業	農 業	保 健	家 政	教 育	芸 術	そ の 他
平成3年3月	87.0	87.2	86.6	87.1	84.6	71.9	83.4	89.7	90.1	66.2
8	65.7	60.9	67.9	65.9	68.5	58.0	78.1	66.2	74.7	39.8
9	67.9	62.3	70.4	68.3	72.6	60.0	78.3	69.6	76.8	39.2
10	65.7	60.2	67.6	63.7	67.8	52.6	75.6	67.2	76.2	36.2
11	59.1	51.3	61.7	57.1	58.9	47.3	75.1	58.8	73.1	31.0
12	56.0	46.6	61.7	52.7	53.4	46.3	75.9	54.1	72.9	27.9
13	59.1	48.8	61.8	54.2	56.3	45.4	75.6	57.6	75.6	30.2



4 高等専門学校卒業生

(1) 卒業生数

平成13年3月に高等専門学校を卒業した者は9千8百人（男子7千9百人，女子1千9百人）で，前年とほぼ同数となっている。

これを設置者別にみると，国立8千6百人，公立8百人，私立5百人となっている。

(2) 卒業生の進路（表19，図18）

卒業生の進路別内訳は「大学等への進学者」3千4百人（全卒業生数の34.9%），「就職者」（就職し，かつ進学した者を除く。）5千8百人（同59.2%），「左記以外の者」6百人（同5.8%）等となっている。

ア. 進学状況

①大学等への進学者数は3千4百人（男子3千人，女子5百人）で，前年より百人増加している。

②進学率は，34.9%（男子37.3%，女子25.1%）で，前年より1.3ポイント上昇している。

イ. 就職状況

①就職者総数（「大学等への進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ。）は5千8百人（男子4千6百人，女子1千3百人）で，前年より百人減少している。

②就職率は59.2%（男子57.5%，女子66.0%）で，前年より0.5ポイント低下している。

③就職者総数を産業別にみると，「製造業」が51.3%と最も高く，次いで「サービス業」22.6%，「建設業」9.8%，「運輸・通信業」5.9%，「公務」4.0%等の順となっている。

④就職者総数を職業別にみると，「専門的・技術的職業従事者」90.7%（うち技術者89.1%等）が最も高く，次いで「事務従事者」2.4%，「運輸・通信従事者」2.3%等の順となっている。

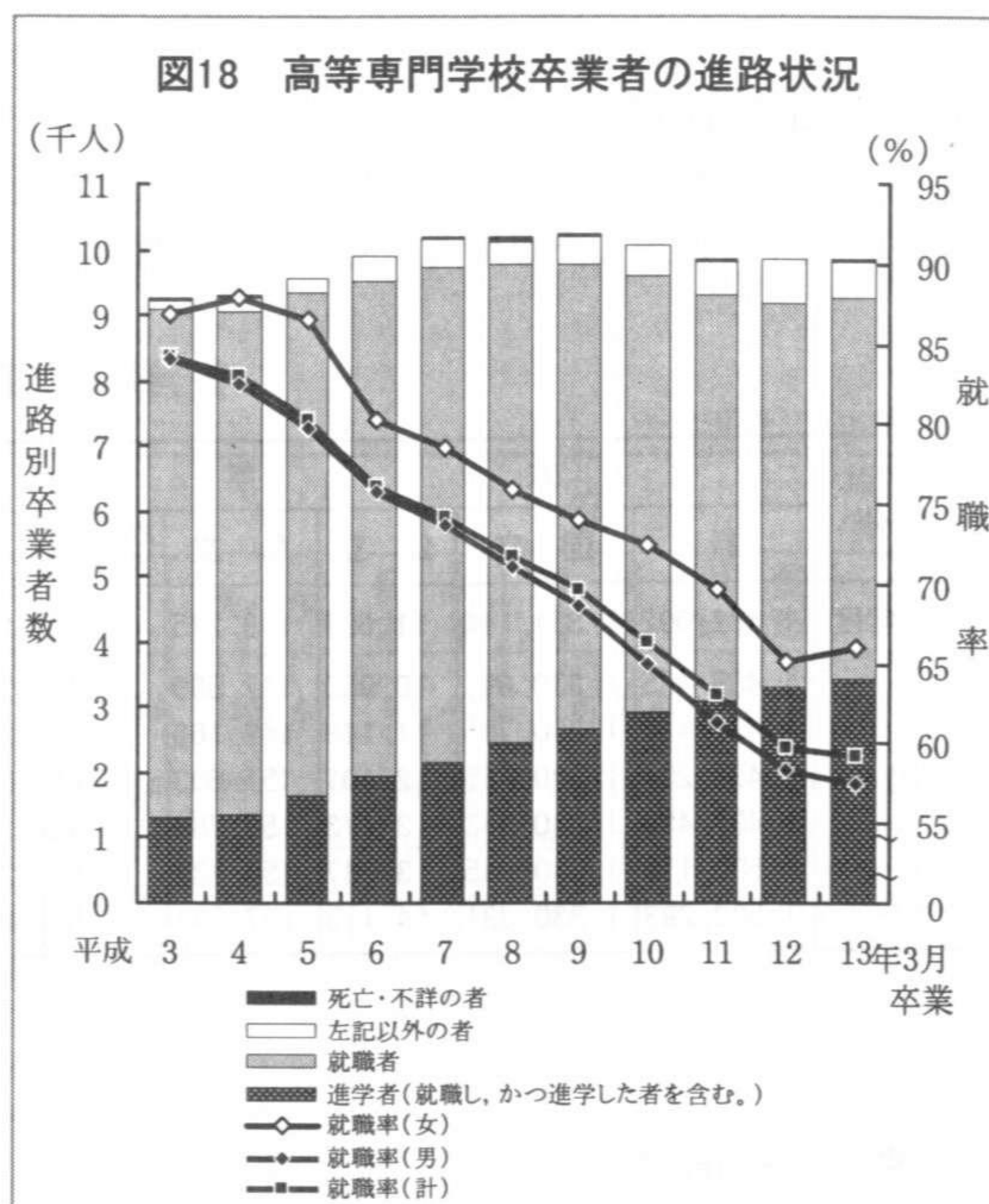


表19 進路別卒業生の推移(高等専門学校)

区 分	計 (a)	進学者 (b)	就職者 (c)	左記以 外の者	死亡・不詳	(再掲)左記 「進学者」の うち就職し ている者(d)	進学率 (b/a)× 100	就職率 (c+d)/a ×100
	人	人	人	人	人	人	%	%
平成3年3月	9,257	1,296	7,782	159	20	10	14.0	84.2
8	10,175	2,482	7,302	337	54	1	24.4	71.8
9	10,232	2,671	7,118	403	40	3	26.1	69.6
10	10,077	2,927	6,675	451	24	1	29.0	66.2
11	9,836	3,085	6,194	537	20	1	31.4	63.0
12	9,849	3,306	5,878	664	1	1	33.6	59.7
13	9,833	3,436	5,820	574	3	—	34.9	59.2

(注)1.「進学者」とは，大学学部，短期大学本科，大学・短期大学の専攻科，別科へ進学した者である。

2.「左記以外の者」とは，家事手伝い及び専修学校・各種学校・外国の学校・職業能力開発施設等へ入学(所)した者，または就職でも大学等への進学者でもないことが明らかな者である。

[学校施設調査]

(1)学校土地面積 (表20)

学校土地面積は、大学15億229万㎡、短期大学2,035万㎡、高等専門学校630万㎡で、前年度に比べ、大学で増加し、短期大学及び高等専門学校で減少している。

表20 学校土地面積

区 分	大 学					短 期 大 学				高 等 専 門 学 校			
	計	国 立	公 立	私 立	放送大学 学園立	計	国 立	公 立	私 立	計	国 立	公 立	私 立
平成3年度	1,482,092	1,331,144	11,627	139,275	45	24,113	462	4,682	18,968	6,257	5,664	426	168
8	1,489,485	1,330,891	10,980	147,569	45	23,343	425	5,010	17,908	6,295	5,688	440	168
9	1,491,125	1,330,765	11,148	149,166	45	23,036	376	4,977	17,683	6,297	5,689	440	168
10	1,494,204	1,330,455	12,101	151,603	45	22,871	392	4,938	17,540	6,303	5,696	440	168
11	1,497,458	1,330,453	13,173	153,784	48	22,389	370	4,836	17,182	6,301	5,698	435	168
12	1,500,170	1,330,045	13,937	156,137	52	21,864	296	4,494	17,074	6,307	5,699	440	168
13	1,502,293	1,330,331	14,115	157,791	55	20,354	289	4,262	15,803	6,300	5,692	440	168

(2)学校建物面積 (表21)

学校建物面積は、公立大学390万㎡、私立大学3,115万㎡、公立短期大学57万㎡、私立短期大学502万㎡、公立高等専門学校14万㎡、私立高等専門学校5万㎡で、前年度に比べ、公立短期大学及び私立短期大学で減少し、私立高等専門学校（前年度と同数）を除く他はいずれも増加している。

表21 学校建物面積

区 分	大 学			短 期 大 学		高 等 専 門 学 校	
	公 立	私 立	放送大学 学園立	公 立	私 立	公 立	私 立
平成3年度	2,041	22,035	41	575	5,470	110	49
8	2,816	25,961	53	719	5,726	127	51
9	2,988	26,702	55	722	5,707	128	51
10	3,294	27,776	57	723	5,622	128	53
11	3,611	28,697	61	715	5,513	134	54
12	3,838	29,968	67	613	5,536	134	54
13	3,903	31,147	75	570	5,020	136	54

[学校経費調査]

(1)国・公立大学の経費 (表22)

国立は2兆2,573億円, 公立は5,137億円, 放送大学学園立は181億円で, 前年度に比べ, 国立附属病院, 国立附置研究所及び放送大学学園立大学を除き, 他はいずれも減少している。

表22 国・公立大学の経費

区 分	国 立					公 立					(単位 百万円)	
	計	大 学	短 期 大 学	附 属 病 院	附 置 研 究 所	計	大 学	短 期 大 学	附 属 病 院	附 置 研 究 所	放送大学 学 園 立	大 学
平成2 会計年度	1,560,780	953,446	19,727	516,656	70,952	362,894	199,410	34,435	126,934	2,115		8,030
7	2,121,488	1,372,557	18,973	631,255	98,702	532,664	284,212	63,421	180,690	4,341		12,691
8	2,080,709	1,327,504	19,037	644,418	89,751	542,423	283,599	49,964	205,231	3,629		12,582
9	2,051,062	1,297,692	17,729	647,668	87,972	557,130	283,173	45,246	223,157	5,555		12,959
10	2,234,789	1,401,857	16,039	711,222	105,672	640,643	337,504	51,819	246,648	4,672		15,987
11	2,272,700	1,473,891	14,974	687,752	96,083	697,242	433,804	43,457	213,458	6,523		16,901
12	2,257,324	1,453,646	11,616	692,589	99,473	513,724	273,991	36,219	198,960	4,554		18,066

(2)国立の高等専門学校等の経費 (表23)

前年度に比べ中等教育学校, 専修学校及び各種学校を除き, 他の学校種はいずれも減少している。

表23 国立の高等専門学校等の経費

区 分	(単位 百万円)								
	高 等 専 門 学 校	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	中 等 教 育 学 校	盲・聾・ 養 護 学 校	幼 稚 園	専 修 学 校	各 種 学 校
平成2 会計年度	64,958	16,222	15,338	6,304	...	11,884	2,536	949	139
7	85,859	20,966	18,647	7,916	...	13,960	2,958	520	74
8	81,521	21,311	19,982	8,373	...	14,448	3,220	510	67
9	78,737	18,731	17,103	7,364	...	14,195	3,055	523	57
10	83,375	19,751	17,497	7,384	...	15,016	3,284	438	39
11	101,870	21,940	18,105	7,813	...	16,230	3,317	395	44
12	92,110	18,972	16,750	6,811	1,032	16,046	3,060	429	50

(3) 国・公立大学の授業料及び補助金収入 (表24)

授業料等収入は、国立9,850億円、公立は2,340億円で、前年度に比べ、国立は増加し、公立は減少している。

また、補助金収入は、公立13億円、放送大学学園立117億円で、前年度に比べ、公立は減少し、放送大学学園立は増加している。

表24 国・公立大学の授業料等及び補助金収入

区 分	授 業 料 等 収 入											(単位 百万円)			
	国 立					公 立					放送大学 学 園 立	補 助 金 収 入			
												公 立			
	計	大 学	短 期 大 学	附 属 病 院	附 置 研 究 所	計	大 学	短 期 大 学	附 属 病 院	附 置 研 究 所	大 学	計	大 学	短 期 大 学	大 学
平成2 会計年度	684,179	277,065	4,660	394,307	8,147	137,057	28,022	7,447	101,390	199	2,039	4,349	4,018	331	5,990
7	812,716	339,787	5,052	458,581	9,297	201,938	61,342	12,036	128,558	2	2,777	6,087	5,662	425	9,914
8	868,620	366,588	4,593	486,943	10,495	208,921	60,291	10,797	137,832	1	2,992	4,895	4,447	448	9,763
9	914,540	381,336	4,316	516,093	12,794	224,772	65,014	11,084	148,672	1	3,116	2,970	2,197	773	10,263
10	918,465	384,696	3,877	517,760	12,133	220,704	63,647	10,497	146,525	34	3,751	2,589	2,072	517	15,454
11	951,476	392,396	3,624	542,581	12,875	241,389	66,065	9,918	165,374	32	4,201	2,890	2,856	34	11,448
12	985,025	408,222	3,127	558,685	14,991	234,028	73,003	9,485	151,475	64	4,888	1,256	1,237	20	11,745

(4) 国立の高等専門学校等の授業料等収入 (表25)

授業料等収入は高等専門学校、小学校、中等教育学校、盲・聾・養護学校及び各種学校を除き、他の学校種はいずれも減少している。

表25 国立の高等専門学校等の授業料等収入

区 分	(単位 百万円)								
	高 等 専 門 学 校	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	中 等 教 育 学 校	盲・聾・ 養 護 学 校	幼 稚 園	専 修 学 校	各 種 学 校
平成2 会計年度	7,523	98	162	1,113	...	36	452	96	9
7	10,315	102	183	1,366	...	21	591	82	13
8	10,852	98	170	1,187	...	20	551	81	10
9	11,177	106	176	1,157	...	20	494	80	9
10	11,529	102	177	1,279	...	20	612	66	5
11	11,813	104	165	1,172	...	17	576	63	5
12	12,085	107	141	990	86	26	525	52	10